

OAC

OSAKA ADVERTISING COOPERATION

平成28年盛夏号 No.219

創立45周年記念特集号



大阪広告美術協同組合

URL : <http://www.kanban-oac.or.jp>

E-mail : osaka@kanban-oac.or.jp



夏目 敏昭 書



コインで削ってね!!

詳細は最後のページに載ってるよ



はずれ

挑 戦

理事長
松 本 優



我がOACは昭和46年8月に発足、多くの人に支えられ、今年45周年を迎えることができました。これもひとえにご支援、ご協力を賜りました関係各位や先輩諸氏の懸命の努力の賜物であると心より感謝申し上げます。

「古い伝統、新しい運営、明日を考え、仲良く進もうOAC」のスローガンを全員で継承し、健全な運営の結果、素晴らしい組織と成長してまいりました。各委員会が時間をかけて計画し実施している事業は大変中身の濃い充実した内容で、組合員様に喜んで頂きながら楽しく行っています。また、未来を担う青年部の活動が更に素晴らしく、独自の成長を見せて来ています。

そして今年5月に行いました45周年記念式典には内外大勢の方々のご臨席を賜りOACの元気を十二分に示すことができました。

更に今年の方針である「挑戦」を基にすでに新しい委員会が活動を開始し、2年間に行う事業の計画も着々と進んでおります。今後OACが素晴

らしい模範的な組織に発展するのは間違いなく、本当に楽しみであります。

さて、最近の世界情勢を見ますとイギリスのEU離脱による世界経済への影響、また中国のわがままな政策による南シナ海の問題やISのテロや北朝鮮による核開発問題と日本も予断を許さない状況であります。一方、国内に目を向けてみますと自然震災への不安や政治家の倫理の問題、景気の先行き不透明さによるストレスと上げるときりがない程いろんなことがあります。こんな時こそ組合員様同士が団結し、課題に立ち向かい、困難を乗り越えてこそ組合の価値があります。

OACが更なる未来に羽ばたくために皆様からの英知を結集し、理事役員はたゆまぬ努力を続けていく覚悟でございます。どうか今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

OACの成長が業界の成長に繋がり、ひいては社会の発展の一部を担うと信じます。

CONTENTS

巻頭言	1	支部だより	28~31
祝辞	2~5	OAC青年部だより	32~36
創立45周年のあゆみ	6~12	KOBAN色紙差替え事業	37
松本理事長 国土交通大臣表彰受賞	13	「かたづけ・たい」活動	37
創立45周年記念に寄せて	14~19	技能士会だより	38~41
平成28年OAC新年交歓会開催	20~21	OACG会だより	42~45
第43回 永年勤続優良従業員表彰	21	あれこれ写真館	46~48
第45回 OAC通常総会開催!!	22	かに三昧ツアー	49
創立45周年記念式典・懇親会 開催	23	組合等事業向上支援事業	50~53
創立45周年記念表彰	24	魔女のひとりごと	54~55
組合運営組織表	25	理事会報告	56~57
新役員紹介	26	お知らせ/あとかぎ	58
創立45周年記念事業	27	名刺広告	62~72

祝 辞

大阪府知事

松井 一郎



大阪市長

吉村 洋文



大阪広告美術協同組合が創立45周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和46年の創立以来、大阪府と連携を保ち、屋外広告物法及び大阪府屋外広告物条例の趣旨を組合員に周知徹底し、屋外広告物の適正な掲出に努められ、大阪の広告物文化と屋外広告物技術の発展に大きな役割を果たしてこられましたことに深く敬意を表しますとともに、平素から本府屋外広告物行政の推進に多大なご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、大阪府では、大阪に住まう府民の幸せの実現に向け、また、多様な人々が住まい、訪れる、居住魅力あふれる都市の創造を目標に、「活力・魅力ある都市空間の創造」と「府民の安心・安全の確保」の観点から施策を推進しています。「活力・魅力ある都市空間の創造」では、『グランドデザイン・大阪』で掲げたうめきた2期において「みどり」と「イノベーション」の融合拠点をめざし、大阪の「顔」となる新たなまちづくりに取り組んでいます。

「府民の安心・安全の確保」では、南海トラフ巨大地震等に備えるため、密集市街地の解消に向けた取り組みを進めるとともに、木造住宅や、広域緊急交通路の沿道建築物、利用者・周辺住民への影響が大きい大規模建築物などの耐震化を促進していきます。

これらの施策の展開には、行政と民間が連携して取り組むことが重要であり、貴組合の皆様のご協力を欠かすことができません。

今後とも、魅力ある大阪のまちづくりの実現、そして、屋外広告物の安全と安心を確保できるシステムの構築に向けて、皆様と手を携えて取り組んでまいりたいと存じますので、従来にも増して一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴組合の今後益々のご発展と更なるご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

大阪広告美術協同組合が創立45周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴組合は、昭和46年に発足されて以来、屋外広告業界の振興はもとより、屋外広告物に関する知識や技能の向上、制度の普及・啓発、人材の育成など様々な活動を展開されるとともに、違反広告物の撤去活動に関するボランティア「かたづけ・たい」にもご参加いただくなど、違反広告物対策の推進と、快適で美しい都市空間の形成に貢献いただいております。

近年、建築物や屋外広告物の安全性に対する市民の意識や関心は高く、周囲の景観や環境との調和を考えながら、公衆への危害を防止する適正な設置・安全管理が求められております。

大阪市といたしましても、道路上の違反広告物対策の強化に取り組み、良好な景観形成に努めるとともに、昨今の規制緩和の流れの中で、地域の取り組みを支援するため、地域活性化に寄与するイベントなどの経費に充当する広告物の道路上への掲出を認めるなど、従来規制の一部緩和を行いながら、景観との調和を図るよう努めているところです。また、これまでの改革の成果を活かし、新たな価値を生み出す市政改革を推進するとともに、府市一体となった取組をさらに進め、大阪の成長を実現し、市民サービスの拡充を図ってまいります。今後とも、将来にわたって豊かな大阪の実現をめざし全力で取り組んでまいりますので、貴組合のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結成45周年を機に、貴組合が今後ますます発展されますよう、また、組合員皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いのことばといたします。

堺市長
竹山 修身

このたび、大阪広告美術協同組合が、創立45周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。皆様には、平素から、堺市政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和46年の創立以来、技能の向上や安全な施工に日々努められ、屋外広告業の健全な発展に寄与されますとともに、良好な景観形成にも多大なご貢献を賜っております。松本理事長をはじめ皆様方の弛まぬ熱意とご尽力に対しまして、心より敬意を表する次第でございます。

堺市では、豊かな歴史・文化資源を活かしたまちづくりと良好な都市景観の創出を図るために、本年1月から、全市域を対象として屋外広告物の許可基準等の見直しを実施し、良好な景観形成の取り組みを進めております。

とりわけ、仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群周辺地域の建築物や屋外広告物に一定の制限を設けるなど、世界文化遺産をめざすにふさわしいまちなみの形成に向け、一体的な保全に取り組んでいます。

これらの取り組みを進めるにあたり、今後とも周辺と調和した魅力ある都市景観の創出にご尽力いただくとともに、美しく安全な広告物を掲出されることにより、本市のまちづくりに一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴組合の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

大阪府中小企業団体中央会 会長

尾池 良行



このたび、大阪広告美術協同組合が、めでたく創立45周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、貴組合は、業界と組合員の健全な発展を図るため、昭和46年に設立され、以来、組合員の強固な結束のもと、機関紙「OAC」の発行による情報提供、KOBAN色紙の差し替え事業、各種講習会や研修会などの開催や団体保険取扱事務事業など諸般の事業を積極的に展開され、業界の振興・発展に大きな役割を果たしてこられました。また、JR鶴橋駅や鳳駅などでの路上違反簡易広告物の除去をボランティアで行われるなど、地域社会の健全化にも大きく貢献されてこられました。

これもひとえに、松本理事長様をはじめ歴代役員の方々のご献身的なご努力と組合員の皆様方の活発な事業活動の賜物であり、心から敬意を表する次第でございます。

年号が昭和から平成へと変わる中、バブル経済の勃興とその崩壊、経済のグローバル化が進展していく中で、中小企業は激しい競争と目まぐるしい環境の変化にさらされて参りました。

このような激動する時代にあって、中小企業がその変化に対応し、競争力を高めていくためには、協同組合の果たす役割はますます重要となっております。

大阪広告美術協同組合の皆様方におかれましては、この記念すべき創立45周年を契機として、これまでの実績と経験を活かし、組合設立の原点であります「相互扶助」の精神に立ち返られ、組合員相互の絆をより一層強められまして、更なる飛躍発展を遂げられますよう、心よりご祈念申し上げます。

中央会といたしましても、組合や組合員企業の活性化のため、会員サービスの充実に全力を尽くして参る所存でございますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに当たりまして、貴組合の益々のご発展と組合員の皆様方のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。お祝いの言葉と致します。

祝 辞

大阪府職業能力開発協会 会長

宮 部 義 幸



大阪広告美術協同組合が、創立45周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

皆様方には、当協会の事業運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴協同組合におかれましては、創立以来、組合員の社会的、経済的地位向上を目的に、様々な分野の情報収集、提供するとともに、組合員皆様方の親睦・連携により組合運営、組織拡大に努めてられました。

これもひとえに、松本理事長はじめ歴代の役員の方々の弛まぬご努力とご熱意の賜ものと深く敬意を表します。

さて、昨今の我が国の経済社会情勢がめまぐるしく変化する中、企業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、社会消費ニーズに適格に対応するとともに、後継者となるべき人材育成が何よりも重要であると思えます。

貴協同組合は、執行部会をはじめ各種委員会、青年部並びに技能士会が勉強会や競技会等を開催されるなど技能者の育成・向上に努められますとともに、小中学生に対する「ものづくり体験教室」等とおして、次世代後継者の裾野の拡大も図っておられます。

また、「かたづけ・たい活動」や「路上違反広告物除去活動」等の社会貢献活動にも取り組まれ、大きな成果を上げておられます。

このような45年間の経験と成果を糧とされ、更に業界のご発展のため、協同組合活動に邁進されることをご期待申し上げます。

当協会といたしましても、国家検定である技能検定試験をはじめ、ビジネス・キャリア検定試験やキャリア形成など能力の開発・向上の支援に努めてまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

輝かしい創立45周年を契機として、大阪広告美術協同組合が益々発展されますよう祈念いたしますとともに、組合員各位のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます、お祝いのごことばといたします。

衆議院議員

左 藤 章



この度は大阪広告美術協同組合創立45周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昭和46年、大阪広告美術協同組合が創立されて以来、政治・経済の多様化や不透明化の中、幾多の困難を乗り越え、「古い伝統・新しい運営」を基本に社会的・経済的地位の向上を目指して、組合員の自主的な経済活動を促進され今日まで実績を積み重ねてこられた多くの皆様方のご努力に深甚なる敬意を表します。

また平素より松本理事長をはじめ大阪広告美術協同組合の皆様方には、法務大臣等であった父左藤恵の時代より、ひとかたならぬご支援・ご厚情を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、現在、我が国及び世界は激動の時代を迎えております。我が国の安全保障環境は、北朝鮮の核実験に次ぐ度重なるミサイルの発射、中国の南シナ海の軍事拠点化につぐ東シナ海での軍事活動、ロシアの領空侵犯、そして中国空軍機へのスクラングルが過去最大数となる中、初となる尖閣諸島への中国海軍の軍艦による領海侵入など、更に緊張が高まっております。

一方、経済面におきましては、円高・原油の不安定な価格変動や中国経済の先行き不安等によりアベノミクス効果が出始めた日本経済に打撃を与えられている中、先般イギリスのEU（欧州連合）離脱が国民投票により決定し、世界を驚愕させると共に世界経済市場に大混乱をもたらしています。

我が国政府は、安倍総理を中心にこの難局を乗り切るため、あらゆる手段を講じることとし、政府・与党が一丸となって景気刺激策や長期経済対策に取り組み、日本経済を確かなものにするため力強く前に進んでいく所存です。

結びに、貴組合の更なるご発展、そして「明日を考え、仲良く進もうOAC」の合言葉のもと松本理事長を中心に組合員各位のご事業の益々のご隆盛とご健勝を祈念しお祝いのご挨拶といたします。

大阪府議会議員

釜 中 優 次



創立45周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

平素より大阪広告美術協同組合の皆様にはご支援とご指導を賜わり、衷心より厚く御礼を申し上げます。

引き続き本年も5月より府民文化常任委員を俳名致しましたが、百舌鳥古市古墳群が世界文化遺産として認められる年となるよう願って止みません。

これからも大阪府政発展の為、皆様の負託に応え、大阪に住んで良かったと実感できる町となるよう努力して参りたいと思っておりますので、今後とも深いご理解とご支援賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

貴組合におかれましては、45年の長きに亘り、広告美術の推進にご尽力をされておられます事に敬意を表しますと共に、各位皆様の飛躍発展を心からご祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

大阪市議会議員

木 下 吉 信



大阪広告美術協同組合（OAC）の創立45周年、誠におめでとうございます。

設立された時代は、大阪万博が開催され、万博景気に沸いていた頃で、大阪が日本で一番元気だった時代だと思います。しかしながら、その後の時代は、オイルショックや円高不況、バブルの崩壊、リーマンショック等、様々な曲折を乗り越えての45年であり、OACを支えてこられた歴代の理事長をはじめ、歴代役員の皆様にご心から敬意を表する次第であります。

本年めでたく45本目の年輪を刻んだOACという大木の太い大きな幹には、それを支えるしっかりとした根があります。

OACの組合皆様の、それぞれの時代に応じたクライアントのニーズに柔軟に対応できる適応力と、日々進化するデジタル化の流れの中で、常に先進的な技術力の習得に取り組まれている事、さらには、歴代役員の皆様の組合を愛する熱い思いがこの年輪を重ねてきた原動力（根）であると思えます。

特に樹木が根から栄養分を吸収するように、OACも技能士会という組織がOACの根に栄養分を常に提供している事を忘れてはなりません。技術力が進歩しても、それを操作する人のアイデアや感性が反映されなければ、空間を創造するクオリティーの高い商品を提供する事はできません。技能士会の活躍こそが、OACの今後を占うキーパーソンである事を皆が理解し、切磋琢磨する事が、業界をリードするOACの発展に不可欠であると考えます。

緑化対策やエコへの取り組み等、環境に配慮した安心安全な商品提供が求められており、これらの諸課題に対しても、組合一丸となって取り組んでいただかなければなりません。5年後の50周年に向けて、松本優理事長を中心に、組合員1人1人がそれぞれの課題を克服され、大阪広告美術協同組合としてさらなるご発展を遂げられるよう、心から祈念申し上げ、創立45周年のお祝いの言葉といたします。

1. 組合創立までの経過

当組合は、昭和46年8月21日大阪広告事業協同組合として設立したが、その組合沿革については、50年以上にもおよぶ長い業績をもっており、その間には名称の変更、または合併・解散等、幾多の変遷を経てきた。しかし、組合の精神ともいべき親睦融和、福利厚生、相互扶助に重点をおき、組合の発展向上を目的とする趣旨においてはいささかも変わることなく、終始一貫してその本流を当組合が継承してきた。この長期間にわたる組合の業績は、すこぶる多岐多様にわたるものであるが、簡単に説明すると次のような概要である。

終戦間もない昭和22年3月10日の旧陸軍記念日に、大阪市北区中之島「中央公会堂」において、組合員約50余名をもって、その当時まだ数少ない協同組合組織の大阪府看板工業協同組合を創立した。戦後の混沌とした世情の中での組合運営には想像以上の苦心があった。

昭和25年5月、3代目の理事長に麻生大蔵氏が就任された時組合員数は約100名ばかりになっていた。麻生氏は人格高潔にして私心なく物心ともに大きな犠牲を払い、組合向上発展のためひたすら精魂を傾けて運営に努力し、優秀な組合としての基盤を築きあげた。

また、先輩諸兄が折角苦心して手に入れた不動産を手放してしまうのは惜しい、何とかこれらを保存しようではないかとの意見が持ち上がり、11名の発起人をつくり、これに多数の同意書が集まって大広不動産保存会を結成した。ところが不動産取得の段階になって、いろいろ研究したが他に適当な方法はなく、結局協同組合を設立するより他に方法はないとの結論に達した。

2. 組合の創立（初代理事長） 松本 光七



昭和46年8月21日大阪上六大阪府教育会館において創立総会を開催し、80名の同意書によって大阪広告事業協同組合を設立、新組合の初代理事長に松本光七氏が就任し、同年9月22日付で大阪府

知事の認可を受けた。さらに昭和48年5月22日第2回通常総会において、「大阪広告美術協同組合」（略称OAC）と名称を変更した。新しい組合「OAC」が発足して1年数ヶ月で組合会館建設という大事業計画をはかり、一般には無謀計画のように思われたが、今建設しなければ今後建てづらくなるということで組合執行部にて立案されて、理事会に諮り意向を聞いたところ全員異議なく賛成し、会館の建設を決議された。

但し、会館建設という大事業には百年の大計の下に理想的なものを建設する必要がある、会館の用途構想収支予算等については衆知を集め慎重に検討を要することは勿論であるが、差し当たり建設委員会を設けて建設計画を練ることになった。総務・経理・工事指導・記録・設備・入居一般事務等の各委員会が発足し日夜再々の会議を重ね、真剣に組合の将来を考え不動の信念をもって会館建設に一丸となって邁進したのである。昭和48年3月3日の佳き日に地鎮祭が執り行われ、7月23日上棟式を盛大に行い工事の安全を願った。かくして、昭和48年9月30日念願の会館建設竣工を見た。この間6ヵ月激動する物価の中で建築資材の高騰や品不足等幾多の難問題にもめげず、頑固なる団結のもとに連日にわたる建設委員の誠心誠意の協力と組合員各位の理解の賜物である。

昭和49年5月15日第3回通常組合員総会において理事長に松本光七氏が再選され、その後組合運営対策について日夜構想を練り、委員会制度を実施したのである。その甲斐あって各委員会ともよく一致協力と連絡を密にして組合運営がより一層スムーズに行われるようになった。組織拡大により、一支部を増設することになり、昭和51年4月4日南支部発足祝賀会が盛大に開催され、時を同じくしてOAC技能士会も発足し、第1回第2回第3回と職域を通じて公共サイン展を開催し、OACも公共社会に大きく貢献してきた。

3. 第2代理事長 貴田 不二夫



常に斬新で積極的な運営に徹し指導力のある松本理事長は、大きな功績を残し昭和53年5月13日第6回通常組合員総会において後進に道を譲り3期（6年）を務め勇退、第2代理事長に貴田不

二夫氏が選任された。理想の組合運営に一步一步前進し、出資金の増資を計り会館建設の借入金全額を返済し5階建会館は全組合員の城となった。

4. 第3代理事長 西野 周吾



かくしてOACは発展しつつ、昭和55年5月26日第9回通常組合員総会において1期（2年）を務めた貴田理事長は勇退、第3代理事長に西野周吾氏が選任された。`古い伝統、新しい運営、`明日を考え、仲良く進もうOAC、を継承し、各種事業への実践面運用面において、「和」を信条とするクリーンな奉仕精神を生かし8委員会5支部制で着実に運営し、創立10周年にして出資金による配当も十分可能なまでに成長発展し繁栄への道を歩んできた。また、10月23日から4日間第4回公共サイン展を盛大に開催し、都市環境になじむ新しい技術も開発され市民の人々に深い感銘を与えた。昭和56年11月20日創立10周年記念式典を盛大に行い益々の発展を誓い合った。

5. 第4代理事長 村上 幸一良



昭和59年5月18日第13回通常組合員総会において2期（4年）を務めた西野理事長が勇退、第4代理事長に村上幸一良氏が選任された。先輩理事長の意志を継承し、それ以上に着々と組合運営と会館管理を積極的かつ確実に実施し、組合歌並びに組合旗・支部旗を制定した。念願の組織拡大を計り、新規加入63社を増す実績は心より評価できよう。組合員360社、出資金に対する配当も確実に実施し、昭和61年、15周年にあたり記念事業としてボウリング大会、麻雀大会、カラオケ大会、ゴルフ大会、ソフトボール大会等を実施し、組合員、家族、従業員の組合に対する理解と親睦を図り、特にゴルフ大会においては各友好団体の参加のもと100名を超える大会であった。

昭和20年来の懸案であった大阪市の広告税撤廃問題は近隣の関係団体と連携して積極的に運動を推進し、再三陳情の結果、平成元年4月付をもつ

て広告税の全廃実現に至った。

同年、中之島公会堂保存の`赤レンガ基金、を応援してOAC広告美術技能士会が中心となった公会堂写生会を開催、作品をチャリティー・セールし、その収益金を朝日新聞社に寄託するなど新しい発想の公共事業を実施した。

ハイテク機器など技術革新が進み画一化された生産技術に対応して、个性的で人間味のある手造り作品の需要上から、書法の説明を加えた楷書編`書の本、を昭和63年3月に、引き続いて行書・かな・隷書・応用編を平成2年に発刊し業界の実用参考書として称賛された。

単組の組合において4年連続して受賞に浴した例は全国同業界に最も稀なる栄誉で、組合が創立以来一致団結して着実に飛躍発展を遂げた証左であり、永くOACの歴史に燦然と輝く誇りといえましょう。

6. 第5代理事長 北山 廣一



平成2年5月28日第19回通常組合員総会において3期（6年）を務めた村上理事長は勇退、第5代理事長に北山廣一氏が選任され、先輩の意志を継承し、念願であった組合会館の全面的な塗装工事を行い、また、創立20周年に向けて積極的に運営を進めた。第6回公共サイン展を中之島公園にて盛大に開催、親睦ゴルフ大会は110名参加の大コンペとなり、その他20周年記念ソフトボール大会、台湾旅行など盛会に開催した。平成3年5月29日通常組合員総会に続き、組合創立20周年記念式典を盛会に挙行、記念のタイムカプセルを壺に入れ50年後開封を約して納められた。平成4年夏には社会貢献やボランティア活動の一環として何か社会に還元できることはないだろうかと委員会で協議した結果、府警本部の歓迎の返事を得て府下50ヵ所のKOBANに色紙を揚げることになった。四季に応じて年4回差し替えることとして、11月に第1回目のスタートを切った。

平成5年2月27日第9回親睦カラオケ大会を桜川で、平成6年4月9日第3回親睦ボウリング大会を

京橋で実施、前日には「明日の産業を築く青年の心理」をテーマに労働問題講習会を開催、組合員多数が熱心に学習した。

7. 第6代理事長 西野 眞澄



平成6年5月27日第23回通常組合員総会において2期（4年）を務めた北山理事長は勇退され、第6代理事長として西野眞澄氏が選任された。先輩理事長の意志を継承し、積極的に組合運営に取り組み、10月26日第5回物故者法要を太融寺で執り行い、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災後、組合員被災者12社へ心ばかりではあるがお見舞いをした。また、技能フェアでは技能士会を中心に色紙や似顔絵描きを行い、心付け等で集まったお金を日赤へ寄付するなど一致団結して着実に進んできた。組合創立25周年へ向けて、記念事業として甲子園での阪神・巨人野球観戦、北海道道央への2泊3日記念旅行会、京都歩こう会、写生会を開催し、平成8年1月にはファミリー美術展を開催、技能のOACと称賛をうけ、3月には「なみはや国体」をテーマに第7回公共サイン展を、4月に記念ゴルフ大会を実施してきた。平成8年5月24日通常組合員総会に続き、組合創立25周年記念式典を盛大に挙行、更なる発展と親睦を誓い合う。中央会の指導のもと活路開拓事業に取り組み、組合員、従業員を対象にデザインやパソコンの研修会を実施し好評を得てきた。平成9年1月にはこれまで続けてきた府下50カ所のKOBANへの色紙差し替え掲示の努力が認められ、大阪府警より感謝状が贈られた。

8. 第7代理事長 信貴 優



平成10年5月28日第27回通常組合員総会において第7代理事長として信貴優氏が選任され、前理事長の後を継承し組合運営に取り組んだ。社会保険労務士との顧問契約、第6回物故者法要を太融寺で挙行、活路開拓フォロー事業を実施、平成11年3月の報告会にて3年間の事業を

締めくくり、また、7月には賛助会員との交流会を開催した。

常にOACの活性化と時代の流れに乗り遅れることなく新しい取り組みをしたいと提言し、雇用能力開発機構大阪センターと事業主団体等委託訓練契約を結び10名の訓練生を受け入れ、1ヵ月間の広告デザイン教育訓練を実施、その後、受け入れ先の組合員事業所で5ヵ月間の現場実習にて実践的な訓練を行い、終了後は数名が就職するなど一定の成果を上げた。平成12年8月中小企業人材確保推進事業対象団体の認定を受け、5年間の継続事業として取り組みが始まった。10月にはシルバー人材センターのシニアワークプログラムにも取り組み、11名が2週間の技能講習を受け、半数が組合員事業所に就職した。組合創立30周年記念事業は人材確保推進事業と併せて進めることができ、北海道道東2泊旅行、組合ホームページ制作、第8回公共サイン展は中之島プロムナードにて開催、その折に献血運動を実施し組合員ご家族等に呼びかけ100名の協力者を得た。平成13年2月ボウリング大会、4月記念ゴルフ大会を開催、5月24日通常組合員総会に続き、組合創立30周年記念式典を盛会に挙行した。平成14年1月第3回ファミリー美術展を開催、同時に人材確保推進事業としてポスター展も開催し、好評を博した。

9. 第8代理事長 岡野 守博



平成14年5月28日第31回通常組合員総会において2期（4年）を務めた信貴理事長は勇退され、第8代理事長として岡野守博氏が選任された。先輩理事長の意志を継承し、更には技能士としての立場から、ものづくり、人づくり、技能尊重、技能士育成を推進し、組合員相互の交流を図りながら円滑な組合運営を行ってきた。11月には3年目となるシニアワークプログラムを実施、3名が組合員事業所に就職、また、若い方にもOACに関心を持ってもらうためスキー・スノーボーダーを企画するなど新しい試みも実施した。厳しい社会状況下にも関わらず堅実な運営により平成15年3月組合会

館外壁、内壁及び事務局内の全面塗装工事を実施、継続事業である人材確保推進事業は企業見学会、労働問題に関するセミナーや相談会開催、各種調査事業を実施、事業成果を取りまとめた報告書を作成し一連の事業は終了した。以前より協力してきた道路クリーンアップ合同パトロール参加に加え、平成16年10月大阪市「かたづけ・たい」活動法人として認可を受け、12月堺市簡易違反広告物撤去活動法人としてそれぞれ町の美化運動に協力してきた。

屋外広告物法の一部改正により届出制から登録制に移行することとなり、平成17年4月条例改正を終えた自治体から順次登録受付が始まり、屋外広告業を営む事業所は自治体毎に登録が必要となることから、説明会の開催、機関誌掲載等による周知を行った。技能検定合格者は登録における業務主任者となることのできるため特に技能検定受験を奨励し、技能向上と技能士の地位発展を支援するなどOAC技能士会と協力しながら組合運営に尽力してきた。

組合創立35周年に向け記念ゴルフコンペ、愛知万博「愛・地球博」への記念旅行、ボウリング大会を実施、平成18年2月第4回ファミリー美術展では109点の作品を集め、技能のOACを実証し大きな称賛を得た。

10. 第9代理事長 松本 優



平成18年5月24日第35回通常組合員総会において2期（4年）を務めた岡野理事長は勇退され、第9代理事長として49歳の松本優氏が選任された。先輩理事長の意志を継承し、先人達の思いを胸に更に活気に充ち溢れた組合となるよう積極的に運営に取り組んだ。組合の健全なる発展を目的としてOAC青年部を設立、若い人達の交流と研鑽の場として供し、活動を支援するとともに人材育成に力を注ぎ、組合活動が組合員のためになるよう思量、委員会数を減らすなど組織をスリム化させながらも充実した活動を図った。平成19年1月大阪府においても屋外広告業登録制が始まったが、

事前準備を徹底、申請書類一式を送付するなど負担軽減となるよう配慮した。

11月には静岡で開催された技能五輪国際大会を見学、OACの原点ともいべきものづくり、技能の重要性を再確認する親睦旅行会であった。平成20年若きリーダーは再任、伝統を重んじつつも時代の流れに逆らうことなく着々と改革を推し進め、OAC技能士会、OAC青年部活動を支援しつつ組合運営に取り組んだ。平成22年3期目は折しも理事数減少となったが少数精鋭とすることで活性化、英知を集め活路を切り開く方法を考え出し実践していくことが重要と図り、「組合から元気を！」をテーマに活動。創立40周年記念事業は上海万博見学を兼ねた中国への記念旅行会、ゴルフ大会、大忘年会、メイン事業として技能のOACを象徴すべく第5回ファミリー美術展を開催、理事長再任日の平成24年5月25日には出席者160名にて組合創立40周年記念式典を盛会に挙行、人工衛星まいど1号の打ち上げに成功された青木豊彦氏による記念講演は元気の出る人情味溢れる熱い内容で好評を博した。

4期目の平成24年の活動方針を「実践に役立つ組合活動」とし、知識の向上や仕事に繋がる事業を重点に運営を進めた。平成25年は「変革を楽しむ」とし、新しい試みとして各支部主催で事業を計画、5月に野球観戦、9月にマス釣り&ぶどう狩り、10月にアート探検、11月にはもちつき&バーベキューと韓国視察旅行会を開催した。5期目となる平成26年は「仕事力を深める」を方針として2年計画で事業を企画、専門家による屋外広告物条例等の勉強会、情報交換の場となる名刺交換会、自己啓発・人材育成関連の講演会を実施、創立45周年に向けて更に積極的に取り組んだ。45周年記念事業として平成27年7月に阪神甲子園球場での野球観戦、9月ゴルフ大会、10月には粟津温泉への記念旅行会を開催、諸先輩への感謝の意を忘れず健全なる運営を行い今日に至っている。

以上のようにOACは「明日を考え、仲良く進もうOAC、を継承し、組合員一同よく団結して誇りをもって着々と発展してきている。

45年の
あゆみ



昭和34年4月24日竣工 旧 広告美術会館



昭和48年10月25日竣工 現 広告美術会館



昭和36年7月7日 旧 広告美術会館2階増築完成



会館屋上庭園に建立された記念碑



大阪広告美術協同組合 創立5周年記念 昭和51年12月3日



創立10周年記念式典並びに祝賀会 大阪広告美術協同組合



創立10周年記念式典並びに祝賀会 大阪広告美術協同組合



大阪広告美術協同組合 創立20周年記念式典

大臣表彰等の栄誉(団体)

労働大臣表彰受賞	O A C	平成12年
中小企業庁長官表彰受賞	O A C	平成16年
国土交通大臣表彰受賞	O A C	平成18年

叙勲・褒章・大臣表彰等の栄誉(個人)

現代の名工受賞	長谷川照彰氏	昭和59年
勲六等单光旭日章受章	長谷川照彰氏	昭和62年
勲五等瑞宝章受章	松本 光七氏	昭和63年
勲五等瑞宝章受章	西野 周吾氏	平成元年
黄綬褒章受章	村上幸一良氏	平成2年
現代の名工受賞	池田 岩男氏	平成4年
勲六等单光旭日章受章	池田 岩男氏	平成7年
建設大臣賞受賞	北山 廣一氏	平成8年
勲五等瑞宝章受章	村上幸一良氏	平成9年
勲五等瑞宝章受章	北山 廣一氏	平成10年
建設大臣表彰受賞	信貴 優氏	平成11年
現代の名工受賞	岡野 守博氏	平成11年
黄綬褒章受章	岡野 守博氏	平成13年
黄綬褒章受章	信貴 優氏	平成14年
現代の名工受賞	夏目 敏昭氏	平成14年
黄綬褒章受章	夏目 敏昭氏	平成16年
現代の名工受賞	福永 省己氏	平成17年
国土交通大臣表彰受賞	松本 優氏	平成28年

松本理事長 国土交通大臣表彰受賞!!

松本理事長が平成28年7月11日(月)国土交通省に於いて建設事業関係功労者として国土交通大臣表彰を受賞されました。おめでとうございます。



2016年(平成28年)7月25日(月曜日)総合報道(昭和33年4月10日 第三種郵便物認可) 第1865号

松本健氏 大阪府美
術協同組合(OAC)理
事長 岡西ネオ工業協
同組合副理事長 岡フジ
ネオ代表取締役社長
御蔭
松本氏は、昭和30年に
実父の経営するシネオ
ン工業所に入社、平成イ
ン工業を継ぎ、株式会社
に改組し、代表取締役社
長に就任。
ネオシステム事業にお
ける近代化を契機に取
組み、特に彫形成造組
織整備等に貢献した先
駆的事業展開、業界の
発展に尽力した功績を
認め、表彰された。



総合報道



祝45周年

O·A·C

と む そう や
有限会社 塗・夢・創・屋

大阪府中央区谷町 6-2-2

TEL06-6191-0858 FAX06-6762-2577

創立45周年記念に寄せて

OACでの思い出やこれからのOACへの思いを書いてもらいました。



相談役
信貴 優 (㈱シグスタディオ)

夏の暑い日でした。会社の前で作業をしていると自転車を通りかかった人が「信貴さんですか。こんな組合があるんやけど入ってくれないか」と声を掛けてきて下さいました。

説明を聞いて看板屋の組合なら仕事にも結びつくであろうと思い加入し43年が過ぎようとしています。年月は早いんですね。

組合ではいろいろと役職を務めさせていただき、第7代理事長で役職を退き現在は相談役です。

OACは45年間、協調と融和の精神を合言葉に全国でも数少ない卓越した組合ではないでしょうか。その原点であるOAC会館を礎としてますますのご健勝をお祈りいたします。

松本理事長はまだまだ若いですから、今後とも一層のユニークさを出してがんばって下さい。



相談役
岡野 守博 (㈱岡野工芸社)

大阪広告美術協同組合（OAC）がこの度創立45周年を迎え心からお慶び申し上げます。

思えば昭和46年創立当時の松本光七理事長、役員の方々が「小さく生んで大きく育てる」をスローガンに熱意ある組合員増強に奔走、日夜、努力された様子が走馬灯の様に目に浮かびます。

創立半年後に加入、以来今日まで組合とコミュニケーションしております。和を以って心情とするOACで社会勉強と得難い有意義な経験を得、OACに加入して本当に良かったと感じています。

この上は次なる50周年に向かって次世代の若いエネルギーと感性を結集して、限りなきOACの増々の発展、飛躍を希望します…OAC万歳！



相談役
夏目 敏昭 (㈱一心堂)

古い伝統、新しい運営、仲良く進もうOAC!!を合言葉に創立45周年を迎え、盛大に記念式典が挙行されたこと誠にありがとうございます。誌面をお借りしOACへの想いを述べさせていただきます。

私は、第5代北山理事長より第9代現松本理事長まで24年間に渡り、副理事長として5人の理事長にお付かえして参りました。私の使命はあくまでも脇役に徹し、主役を補佐するという人生に誇りを持って活動してきたところでございます。

その間、公共サイン展を第2回から第8回まで、またファミリー美術展を第1回より第5回まで、そして大阪府警各署の交番に色紙を掲示するという文化事業を23年間、今も継続中、全てに携わってこれたことであります。

その間、昭和61年には大阪府から技能顕功章(なにわの名工)、平成14年には厚生労働大臣賞(現代の名工)、平成16年には黄綬褒章の栄に浴し、皇居に参内し天皇陛下に拝謁、心あるお言葉を頂戴し家内共々感激に咽んだ次第であります。

当時の岡野理事長が発起人代表となり盛大に私の祝賀会を催していただいたこと等々、OACに対し只々感謝の言葉しかみつかりません。組合員皆様のご支援に衷心より御礼申し上げる次第でございます。

今後は松本理事長のもと若い力で安心、安全な業界、屋外広告物条例のルールを厳守し、看板の美術、デザインと共に安全面に対する技能、技術について大いに議論し挑戦して行かれますよう熱望し、お祝いと思い出のことばと致します。



参与
宮崎 一英 (宮崎工芸)

「光陰矢の如し」、この度は創立45周年を迎えら

れましたこと誠にありがとうございます。

OACに再加入して30年を超え、組合での思い出は沢山あります。20周年記念事業として企画されたタイムカプセルが事務局に保管されており、開封は創立70周年の時ということで、随分永い歴史が続くのですが、これも諸先輩方の努力があればこそで、決して忘れてはならないと思います。

加入当時に比べますと組合員数はかなり減少していますが、これも時代の流れ、それでも今や理事長の「元気ですか～」の発声で組合が活気づき、役員の方々も若い世代になり元気一杯に活動され、また青年部も10周年を迎え素晴らしい成長をされております。これからも皆様が一致団結して確固たる組織を築いて行かれる事でしょう。

私がOACに加入して一番プラスになったのは人との触れ合いです。恥を知りつつ中央支部長や副理事長をさせていただき、あまり貢献もできない私でしたが、皆様には大変お世話になり、色々なことを教えていただき勉強させていただきました。感謝申し上げます。

最後になりましたが、OACの尚一層の飛躍を切望しております。



理事長
松本 優 (㈱フジネオン)

私がOACに加入して4年～5年くらい経った時でしょうか。南支部の総会だったのか納涼会だったのかは覚えていませんが会場をはいから村というスーパー銭湯で行いました。当時私は支部の会計をしていて、宴会の最後の方で前へ出て話さなくてはならない様な事がありました。何を話したのかは記憶にないですが、その時本部来賓で来ていた現信貴相談役が大きな声で「南にもいい奴がおるやないか。あいつなかなかいいぞ。将来理事長にもなれるぞ」と言い、それ以来信貴さんには良い事も悪い事もいろいろとお世話になり、15年後に理事長に就任し早10年です。

今後のOACに思うもの、今でもOACは他組合には負けないぐらいの元気さや仲間同士の強い絆があり

独特の素晴らしさがあります。ただ、一つずっと胸の奥にあるのは中央に繋がっていないということです。それがいいところと言って下さる方もおられますが、やはり現在の情報化社会から言うと気になります。将来は中央に繋がる組織化を考えていきたいものです。



副理事長
森川 英雄 (㈱劇団往来)

45周年記念式典で映し出された映像を見て、何もない状態から組合を作り上げ今の状態までしていただいた諸先輩方の功績、誠に感謝いたします。

今の若い世代の組合員の皆様にきちんと橋渡しができるように組合活動を続けていければと思っています。



副理事長
浦 正文 (サイン・アート)

OACに加入し23年になると思いますが、平成8年の25周年記念事業で、公共サイン展(なみはや国体)の作品パネル製作を当時理事をされていた藤原さんより依頼があり、その頃は、まだ手書きの看板が多く、忙しい中デザインを考え筆を走らせた記憶が最近のように思います。今でも作品パネルは仕事場の壁に張り付けています。

早いもので、もう20年になるんですね…。今年で還暦、ボケないようにまだまだ仕事も頑張りますよ。



副理事長
堀ノ江 良 (㈱シーピー)

この度は創立45周年おめでとうございます。

この45年の歩みは息もつけぬ速さで発展・変化をとげた時代でもあります。

先人が常に未来を案じ、大きい希望を抱いた思いが、こうして今、組合員の皆様方によって色を変え、形を変え、前進していることを頼もしく思います。

この先50年、100年とこの思いが引き継がれ、組合員として誇れるような活気ある組合になりますよう、一步一步と尽力させていただきたいと思います。



副理事長
伊藤 陽祐 (第一宣伝棟)

OACの思い出で感慨深いのは九州への旅行会と支部長会主催の合同忘年会です。理事として初めて所属したのが厚生委員会で、何も分からないまま無我夢中でやったのですが、凄く楽しかった思い出が残っています。

定期的に支部長会を開催し、参加者に喜んでもらい、楽しんでもらえるように、どうしたらいいか考えながら企画したのが合同忘年会でした。どちらの企画も自分達も楽しかったし、参加者にも満足してもらえたのが勉強になり良い経験になりました。

これからもOACは、強みの懇親と、そして勉強と経験ができる組合としてあり続けて欲しいと思います。



副理事長
金井 和人 (三晃プラスチック工業棟)

2014年に理事になって2年が過ぎました。まだまだわからない事だらけですが、皆様のおかげでとても楽しく組合活動をさせていただいています。本当にありがとうございます。

2年間で感じた事は、理事長を先頭に皆さんが元気で活発に活動していて、すごく活気がある組合だということです。

いろいろな活動を組合全体で取り組んでいて、参加して良かったと思える工夫やアイデアがたくさん盛り込まれています。あまり参加できていない組合員の皆様、是非一つでも参加していただければと思います。

これまで築いてきた45年という歴史の重みとこれまで組合のため貢献して来られた諸先輩方に感謝し、次の50周年に向けて皆さんでこのOACを盛り上げていけたらと思います。組合員の皆様、どんどん事業など組合活動に参加してOACを盛

り上げていきましょう。



理事
羽野 幸保 (マツシマ看板店)

平成12年に父の跡を継いで組合に参加させてもらい、初めて父と組合に理解が無かったことを知り、父には申し訳なく思いました。さほどにOACは良い団体で、創設当時の諸先輩方の努力のおかげで今日があり、又、組合員の方も若い方が増え、今後の益々の発展に期待します。



理事
笠谷 周正 (桃太郎)

今日の私、そして弊社があるのも、このOACのおかげと言っても過言ではないとつくづく感謝しております。

16年前、家業である看板業の事など全く無知だった私が手伝う事になり、皆様に何か教えて頂ける事はないかと藁をも掴む思いで祖父の代からお世話になっているOACに、現弊社会長と初めて中央支部の忘年会に参加した日が昨日の事のように思い出されます。私にとっては雲の上のような諸先輩方に仕事の事や思い出話に至るまでOACの行事に参加する毎に色々と教えて頂き、毎回刺激を受け、気づけばあっと言う間に今日に至っております。

今後もしばしばOACの皆様から様々な事を吸収して成長し、いずれは自分が後進の方へ刺激を与えられる、またOACと業界の発展に寄与できるように頑張りたいと思います。



理事
秋村 敬三 (南秋村泰平堂)

この度45周年を迎え、ますます活気づいているOACは、青年部、本部共に分け隔てなく活動される方が増えております。これは、今後の組合発展のために大きな力になると確信しています。

OACから看板業界を元気にしていきましょう。



理事
松原久美子 (有塗夢創屋)

今から25年位前、会社員として勤めていた頃、社長の代理で玉造温泉に旅行に行ったのが、OAC参加のスタートでした。ゴルフを勧められて、当時今よりへたくそで、(今も変わりませんが) 宴会に出る前にスコアを聞かれて、その場にいた方は80や90台でまわっておられ、私が「158でした。」と答えると、「あんなあ、もっとショートコースで練習してから本コースに出るべきやでえ」と、まわりの何人かの女性に笑われ、好きでゴルフに参加したわけじゃないのに、なんでこんなふうにいじめられるのか、なんにも言葉を返すことも出来ず、へたはゴルフをする権利もないのかとOACに対して恐怖におびえておりました。

そんな中、大多数のOACの会員さん達には仕事や生き方についてアドバイスを頂き、仕事も頂き、今では塗夢創屋自体がOACなくしてはならない程になっています。仕事そのもの自体がOACに育てられたと感謝しています。多方面にわたる情報の数々、私達経営者が知っておくべき情報の提供者がOACだと思っています。

OACG会にも誘われて、北海道や九州のコンペにも参加しましたが、「松原さんはいつまでたっても上手にならんあ」という声を聞いたたびに、笑いにされた当時の事を思い出しました。トラウマなんじゃないかな。

「ボウリングで勝負したるか? アイススケートでも勝負出来るでー」って心の中で叫んでいます。



理事
大亦 康雄 (大亦商店)

私のOACの思い出は何といっても昨年亡くなられた東支部長など歴任された光陽銘板会長「吉本憲太郎」さんです。

「大亦さん～、いつやめてもええからちょっと入ってやってくれへんかあ～、OACで言うねんけど…」とバッジ記章屋の私に声をかけてくれ

はってからもう何年になるのやろ? お陰様で辞めることもなく素敵な仲間と出会え、いつの間にか「引き出し」が沢山増え感謝してます。



理事
岸田 仁良 (株光陽銘板)

先代の吉本会長からの流れでOACの支部員としておりますが、私の東支部が一番人数の少ない支部で、本部理事という大役を受けるにあたり、とまどいと、なんとか2番目に少ない支部にするために一肌脱いでやろうかという意気込みで理事を受けてしまいましたが、仕事の都合上どうしても月1回の理事会に出席出来ず、申し訳ないと思いつつ日々を過ごしております。

6時という時間は、私にとって一番忙しい時間です。理事の皆さんと交流を持ちたいと思いつつ、私にとって一番大切な仕事を放りだして理事会に参加することも出来ず、今一番の課題は、私が留守をしても仕事がちゃんとまわる体制作りだと思います。

私が留守でもちゃんと仕事がまわるようになれば、支部長だろうがお願いいたします。支部員を増やすために大阪中走りまわりませ。



理事
山元 栄一 (株キヌガワ)

OAC!素晴らしい組合です。

私の事業活動に不可欠な仲間たちがOAC組合員の皆様なのです。新年会、通常総会、支部活動、研修会、親睦旅行会、OACG会、野球観戦、等々…。全てが感動し、心に残る出来事の連続でした。

自分が今までに体験し、少しでも「良かった!」「感動した事」を周りの人々に伝え、広げていきたい!そして皆で体験し感動を共有すればその波動は広がる!の精神で事業推進、そして組合活動にも参加してまいりました。これからも、躍進するOACのメンバーである事を嬉しく思い、人生の大切な1ページを沢山綴っていく所存です。

これからも、よろしく申し上げます。



理事
山岸 友彦 (株ミリオソ)

屋外広告業を主な生業とする企業の組合でありますOACは、この業界をまさに反映している団体だと考えています。屋外広告業、すなわち看板といいましても業態は非常に多岐にわたります。伝統的な手書きや彫刻などから金物、電気全般、シートやインクジェット、付随する資材ほか、関わる業態は枚挙に暇がありません。逆に単独で完結できる仕事は少なく、各社のチームワークが大切な業界です。そのためか組合員同士の交流も深く、非常に仲良く楽しくためになる団体です。

この業界団体である組合が各業種の潤滑油となり、組合の繁栄を通じて業界全体の繁栄、ひいては国民全体の繁栄につながると考えます。そのような素晴らしい組合の発展を願い、その活動に貢献できるよう努力して参ります。



理事
夏目 健一 (有一心堂)

この度は広告美術協同組合の創立45周年、誠にありがとうございます。長年にわたり、弊社社長でもある父がOACで組合活動をしているので、青年部発足前より数回ですが事業に参加させて頂きました。思い出としては、組合活動の原点でもある青年部発足に携われた事が一番大きく感謝しております。

今後も組合活動を通じて少しでも社会に貢献出来ればと思います。



理事
長澤 達也 (株本州堂)

OAC組合員の皆様並びに関係各位の皆様、創立45周年誠にありがとうございます。謹んでお喜

び申し上げます。

私はOACに在籍して日も浅い若輩者ですが、45年という歳月を思うと感慨深いものがあります。

昭和12年の大東看板商美会を基礎とし、OACが創立された昭和46年8月20日以来、歴代理事長をはじめ、歴代組合員の皆様方におきましては日々研鑽を重ねられ、自らの経営と共に組合の発展のため多大なご貢献をされました。そのたゆまざる努力に対し、深く敬意を表します。

最後に、理事として恥ずかしくないよう努力することを誓い、OACの今後のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



理事
木南 憲二 (ペン工芸)

OACとの出会いを思い起こして頭の中をタイムスリップしてみました。私がOACに加入させていただいたのは今から22年前、25歳の時です。大学を卒業して就職もせず、書と絵だけ得意だった私は何となく看板屋さんを始めてぷらぷらしていた頃で、当時お世話になっていた方から強制的(笑)に加入させられました。(今思えば、若いクソガキに皆さん対等に優しく接してくれました。感謝)

当時は看板の事が何もわからない若僧でしたので、訳もわからず組合行事に参加していました。組合員の皆さんは私にとっては雲の上の存在で、お話が出来るだけ、名刺をいただけるだけで嬉しくてたまらなかったことを覚えています。

組合の良さは、業界の重鎮、諸先輩方、二代目さん等様々な方々と普通にお付き合いさせていただけること、共に夢を語れる素晴らしい仲間と出会えること、仕事に自信が持てること、もちろん、技術やたくさんの学びができることもあります。

いつまでも自分が一番若いと思っていたらいつの間にか青年部が立ち上がり、早10周年。若い看板マンがたくさんいるな〜と改めて気づきました。今後は若い世代に少しでも気づきやアドバイ

スが出来よう、また、50周年に向け、組合や業界に今の自分にできる恩返しをさせていただきたいと思えます。

これからは「競争から共創」の時代。共に活かし合い、共に栄える組合づくりに少しでも力になれるよう努力していきます。



理事
松林 泰弘 (㈱堺博光社)

OACでは色々な行事に参加させてもらいましたが、今思い出すと、どれも懐かしく楽しい思い出です。

1つ挙げるとするとすれば、2泊したこともあり2010年の上海万博でしょうか。初めて接した中国のパワーとバイタリティーに圧倒され、帰国後1週間はカルチャーショックと下痢で頭がぼうっとしていた事を思い出します。その後漁船の体当たり事件などで、日中関係は最悪になっていくのですが、その前に、先入観を持たずに中国を肌で感じられたことは貴重な体験でした。



理事
松本 正敏 (山中田テント製作所)

この度、理事となりました松本です。役員のおさまと良い組合になるように、一生懸命がんばって行こうと思います。宜しくお願いします。



理事
柏原 将吾 (柏原テント㈱)

10年前の北支部納涼会の淀川花火大会鑑賞がきっかけでOAC組合活動に参加するようになりました。講習会、研修会で学び、旅行会には楽しんで参加させてもらっています。知人、友人ができたことにより仕事の幅が広がりました。

普段あまり行事に参加されない組合員さんも是非参加していただき、より活気ある組合を目指しましょう。



理事
橋本 幸代 (センム工業)

OACでの思い出は旅行会です。私は人とのコミュニケーションをとるのが下手で、会話もうまくできませんでした。なので、最初は一人で旅行会に参加するのは不安で心細かったのですが、参加する毎に楽しく過ごしています。

お会いする方々はいつも優しく接してくださって感謝しています。普段なかなか行かない場所や行ってみたかった場所に行けて嬉しいです。



理事
上田 亨二 (㈱岡野工芸社)

思い出がたくさんあり、何を語ればいいのか語れません。今のままで。



理事
大島 祥一 (㈱山崎標記)

今更ですが、2016年度のサルの申という字には伸びる・伸ばすという意味もあると聞いています。OACの更なる発展、そして大阪大発展の為にOACの拡大の力になればと思います。

ではどういう形で力になるのか。私はいろいろな方と話をすることが大好きです。先日も初めて組織委員会の会合に参加いたしました。その中で自分なりに意見やOACを拡大するにはどうすればいいのか??約2時間真剣な対話をさせて頂き大変勉強になりました。終了後、思ったことは会社の拡大もこうやって真剣に社員と話す機会を持つことが大事なのだ!と。思いを共にする存在を一人でも多く増やしながらOACと共に会社も大きくしていきたいと思っています。

まずは自分自身が挑戦・挑戦で愚痴ゼロ、そして明るく前向きに!を自身の合言葉にして、皆さんの足を引っ張らないように一歩ずつ前進にしていきたいと思っていますのでどうか宜しくお願いいたします。

平成28年OAC新年交歓会 盛大に開催！ 平成28年1月19日(火)



平成28年1月19日(火)午後5時30分よりホテルモントレグラスミア大阪に於いてOAC新年交歓会を開催いたしました。

ご来賓、組合員、賛助会員、組合員ご家族、従業員等総勢100名の方々のご参加をいただき、森川副理事長の開会のことばにより第1部が始まりました。浦副理事長をソングリーダーにOACの歌を斉唱、恒例となりつつある『元気ですか～』から始まる松本理事長の元気な挨拶があり、古希となられる巧商工の森井様に長寿のお祝いが、永年勤続優良従業員表彰では代表して勤続40年となられる(有)一心堂の夏目和生様に中央会会長表彰が贈られました。



続いて、ご来賓並びに賛助会員の方々をご紹介します、ご来賓を代表して4名の方にご祝辞をいただき、悦副理事長の閉会のことばで第1部は終了しました。

第2部懇親会は山元厚生委員長の司会で、大阪屋外広告美術協同組合理事長の富田様、関西ネオン工業協同組合理事長の梅原様、大阪ディスプレイ協同組合副理事長の藤田様、松本理事長による鏡開きがあり、梅原様の乾杯の発声により歓談となりました。

会場に出席の申年生まれ13人の年男の方々に、年男である松本理事長より記念の品が贈られ、アトラクションとして夏目相談役夫人による舞い、HerRo*2” (ハロハロ) ショー、抽選会があり、堀ノ江副理事長の大阪締めにて閉会となりました。



第43回 永年勤続優良従業員表彰

中央会長表彰

40年勤続	(有)一心堂	夏目和生
20年勤続	デコラティブシステム(株)	崎山正一

理事長表彰

15年勤続	(株)桃太郎	中川憲吾
	西森テクノ(株)	小林孝嘉
	(有)平成美装	平野拓也
	(株)堺博光社	中村大輔
10年勤続	(有)一心堂	村田佳仁
	(株)フジネオン	海中英樹
	デコラティブシステム(株)	西尾政人




超耐久性濃縮カラーペースト

塗替えの大変な高所看板、
ネオン塔、
広告塔にピッタリ。

0.7ℓ

JIS表示許可工場
創業昭和7年-50年の信頼にこたえる

 **大同塗料株式会社**
本社 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号
〒532-0032 電話 (06) 6308-6281番(代)

第45回

OAC通常総会開催

第45回OAC通常総会が、去る5月24日(水)午後3時30分より、梅田にありますホテルグランヴィアにて組合員104名（うち委任状69名）の出席を得て開催いたしました。

まずはじめに、永年に渡り組合運営にご尽力をいただいた組合員物故者のご冥福をお祈りし黙祷を捧げた後、松本理事長のご挨拶があり、総務の私（森川）による開会宣言を行いました。

続いて新規加入組合員の紹介と、組織拡充功労者への感謝状贈呈、平成27年度技能検定に合格された方への合格証書の伝達が行われました。

そして、議長に、夏目相談役が選出され議事に入りました。

第1号議案の平成27年度事業報告については浦副理事長にて説明がなされ、第2号議案の平成27年度決算報告並びに剰余金処分案の承認については、悦副理事長が説明、監査報告の後いずれも原案通り可決承認されました。

第3号議案の平成28年度事業計画の設定については浦副理事長が、第4号議案の平成28年度収支

予算の決定についてと第5号議案の平成28年度借入金残高の最高限度額の決定については悦副理事長が説明されました。

第6号議案の労働保険事務組合事務処理規約の一部改正等については今村局長が、第7号議案の定款変更に関しては私（森川）が説明しました。

そして最後に本年度は役員改選の年ですので、第8号議案として役員改選が行われ、満場一致で松本理事長が再任されました。

その後、議長が降壇して、第45回通常総会は無事終了し、全員で記念撮影を行い閉会しました。

副理事長 森川 英雄



創立45周年記念式典・懇親会開催!

大阪広告美術協同組合設立45周年記念式典並びに、懇親会が5月24日(火)午後5時30分より、梅田にありますホテルグランヴィア大阪に於いて御来賓・賛助会員・組合員86名の方に御出席頂き開催されました。

総務の私(森川)が司会を担当し、まず初めに総会にて松本理事長が再任した件をご報告させて頂き、OAC45周年のあゆみを放映しました。今回の映像は役員全員で意見を出し合い、笠谷理事の素晴らしい編集によって完成し、放映終了後、会場からは歓声が上がりました。笠谷理事、御忙しい中映像を編集してくださり誠にありがとうございました。

会場が映像で盛り上がったところで、松本理事長による式辞が述べられ、御来賓及び賛助会員の皆様をご紹介させて頂きました。

この後、表彰状の授与に移り、多年に亘り組合に在籍、業界の発展に寄与されたとして大阪府知事表彰15社、大阪府中小企業団体中央会会長表彰36社の方々が表彰されました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

御来賓の祝辞では、衆議院議員 佐藤章様、大阪府議会議員 釜中優次様、大阪市議員 木下吉信様よりそれぞれ身に余る御祝辞を頂きました。

そして最後に私(森川)の閉会の辞があり、式典は滞りなく終了いたしました。

式典の後は皆さんお待ちかねの懇親会です。厚生担当の山元委員長の司会で開会の言葉があり、友好団体、大広協の富田理事長の乾杯の御発声で一気に最高潮に達し、楽しい宴がスタートしました。



祝電披露の後、アトラクションとしてOSAKA翔GANGSのライブがあり会場は盛り上がりました。OSAKA翔GANGSは今年結成10周年だそうで、組合同様20年、30年と末長く続いて欲しいものです。

そして宴もたけなわとなった所で、メとして堀ノ江副理事長の閉宴の言葉で名残惜しくも幕が閉じました。

今回ご協力頂きました役員の方々、また青年部の皆さん、そして何よりご出席いただいた組合員の皆様、従業員の皆様ほんとうにありがとうございました。

副理事長 森川 英雄



創立45周年記念表彰

大阪府知事表彰

アポロサイン株式会社
株式会社アングル
有限会社一心堂
追分看板店
株式会社岡野工芸社
加藤広告株式会社
株式会社カマダ工芸
株式会社堺博光社

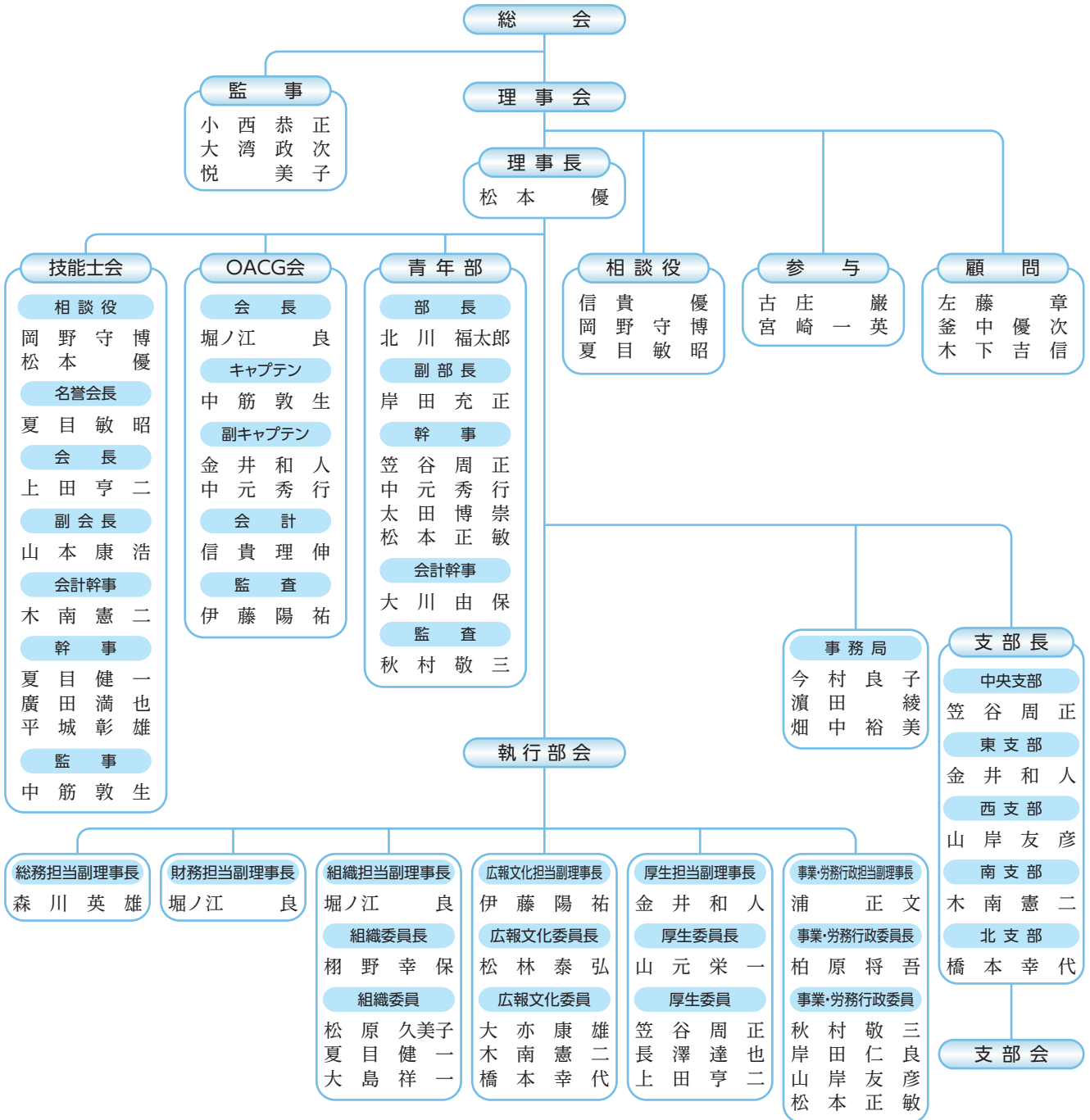
株式会社貞岡工芸社
株式会社シギスタディオ
シライ工芸
第一宣伝株式会社
株式会社ハラ
不二工芸株式会社
株式会社桃太郎

大阪府中小企業団体中央会会長表彰

株式会社アート広業
上六広告株式会社
栄光美芸株式会社
大野工芸
加藤建装
株式会社カシヤマ
看板のよろずや
共栄社
協和電工株式会社
キングプリンティング株式会社
公成社
コニシ工芸
サインアイデアセンター大電
サインクラフト イシイ工芸
株式会社大協社
高山製作所
田崎看板工芸社
株式会社電飾工業

株式会社日宣
株式会社白竜社
阪堺広告
有限会社阪神彫刻工業所
日立広告
株式会社ヒノテック
日の出装飾有限会社
富士広告株式会社
富士電装株式会社
有限会社藤原工芸
株式会社ブンショードー
松岡広告株式会社
マツシマ看板店
株式会社村上造型
山中田テント製作所
湯井製作所
吉川看板製作所

大阪広告美術協同組合 組合運営組織表



祝 45周年
OACと共に
岡野工芸社



新役員紹介



副理事長
金井 和人
(三晃プラスチック工業㈱)

この度、副理事長を仰せつかりました三晃プラスチック工業株式会社の金井です。よろしくお願ひします。

理事経験もまだ浅いにも関わらず副理事長という大役を仰せつかり、期待と不安が入り混じった感じですが、このような機会を与えていただいた事に感謝し、自分自身もしっかりと学ばせていただき、組合員の皆様に必要とされる組合運営のお手伝いができるように微力ですが

頑張っていきたいと思ひます。

今期の目標が「挑戦」ということで、副理事長という大役にもチャレンジし、何事にもどんどんチャレンジ「挑戦」していきたく思ひています。組合員の皆様にどんどんと組合活動に積極的に参加、チャレンジしていただき活気ある組合にしていきましよう。

景気もあまり思わしくなく、為替の急激な変動や、イギリスのEU離脱など、不安要素が大きい状況ですが、本当に微々たるものかもしれませんが、OACから元気を発信していけるよう皆んなで盛り上げていきましよう。

精一杯努めさせていただく所存ですので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。



理事
岸田 仁良
(株)光陽銘板



理事
長澤 達也
(株)本州堂



理事
松本 正敏
山中田テント製作所



理事
上田 亨二
(株)岡野工芸社



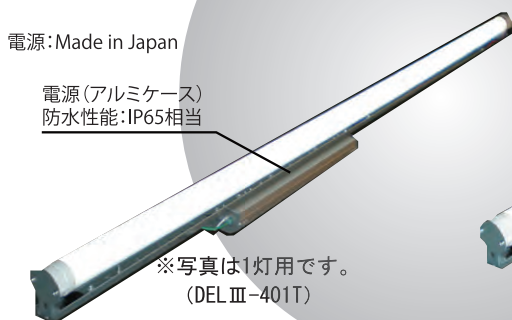
理事
大島 祥一
(株)山崎標記

直管LED 電源別置型 (1灯・2灯用)

デル (DEL) ライト III

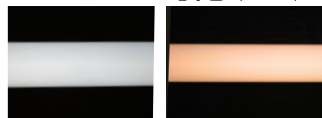
電源: Made in Japan

電源 (アルミケース)
防水性能: IP65相当

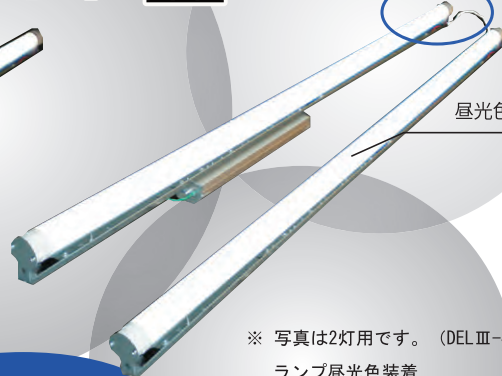


※写真は1灯用です。
(DEL III-401T)

昼光色 (6500K) 電球色 (2700K)



**40W, 32W, 30W, 20W type
フルラインナップ**



※写真は2灯用です。(DEL III-402T)
ランプ昼光色装着

キョーワ®

3年保証

6500K (昼光色)
2700K (電球色)

310°の
広い照射角度
350° (照射範囲)

器具
電源 認証
 認証

LED素子
LGインテック社製

電源 IP65 相当

省エネ効率
61.4%ダウン
(銅鉄40W2灯との比較)

広告電気照明メーカー

協和電工株式会社

〒547-0041 本社 大阪市平野区平野北1丁目7番12号
TEL (06) 6792-5000
FAX (06) 6792-5255
〒150-0012 営業所 東京都渋谷区広尾1丁目5番14号
TEL (03) 6427-1990

[HOME・PAGE] <http://www.kyowadenco.co.jp>

[E-MAIL] kikaku@kyowadenco.co.jp

野球観戦

阪神 vs 巨人

平成27年7月22日(水)
阪神甲子園球場



ゴルフ大会

平成27年9月12日(土)
東条の森カントリークラブ 東条コース



記念旅行会

平成27年10月18日(日)・19日(月)



支部だより

中央支部 総会

平成28年4月12日に中央支部員11名、ならびに松本理事長、浦副理事長はじめ6名のご来賓にご臨席をたまり、難波にあります川富本店大阪にて平成28年度中央支部通常総会・懇親会を開催いたしました。

例年は総会と併せてなにかイベントを併催していましたが、今年度は初心に帰り地元ミナミでシンプルに開催しました。シンプルと申し上げたものの総会・懇親会とも皆さん熱い議論や意見交換をしていただき、さすがは中央支部、中身は大変濃く充実した会となりました。

また本年度は役員改選にあたり、僭越ながら私、笠谷が三度目の支部長を拝命いたし、全役員とも



再任という体制で益々活発な支部活動を目指していきたいと思っておりますので今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

支部長 笠谷 周正



東支部 総会

平成28年4月15日(金)天王殿にて東支部の総会を行いました。

程よい緊張感の中粛々と進められ、第1号議案から第5号議案まで無事に全ての原案が全員一致で承認されました。今年は役員改選があり、引き続き金井が支部長に再任にさせていただきました。また2年間よろしく願いいたします。

その後、豪華なお料理で舌鼓をうち、東支部恒例のゲーム大会ではビンゴゲームを行い大いに盛り上がりました。



松本理事長をはじめたくさんの方にお集まりいただき、大いに盛り上げていただきました。本当

にありがとうございました。

支部の皆様におかれましては、今期も本部の事業も合わせて色々な行事があります。来て良かったと思っただけのよう役員一同盛り上げていきますので、1社でも多くのご参加をお待ちしております。何卒よろしく願いいたします。

支部長 金井 和人



西支部 総会

春うらかな4月19日(火)午後7時より、新阪急ホテル2階「宙の間」にて西支部総会を執り行いました。賑やかな店に行くことが多い中、久々にホテルでの開催です。

総会はいつになく厳かな雰囲気の中、つつがなく進行しました。

しかし懇親会が始まってしまえばやはり西支部。コンパニオンさんも同席され、急きょ登板しました中元さんによるゲームなど大いに盛り上がり、雰囲気に合わせてワインを片手に飲み放題を堪能されてました。やはり西支部パワー健在です。

本総会では支部役員も改選され、新体制でのスタートとなります。本州堂の長澤さんに会計幹事としてご参加いただき、ますます厚い布陣になり



ます。

私も支部長に任命いただき、心機一転、西支部の皆様のため尽力したく存じます。新米で不慣れですが、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部長 山岸 友彦



南支部
総会

平成28年4月9日(土)ホテルアゴラリージェンシー堺26階サファイアの間において南支部総会を開催いたしました。支部会員36社中、出席15社、委任状出席19社にて、成立の上、下垣内議長の下、第1号議案から第5号議案まで、すべて可決承認されました。

今年は役員改選の年に当たり、新しい支部長に一工芸の木南さんが選出され以下の方々が役員としてこれから2年間、南支部を運営していくことになりました。

支部長	木南 憲二 (一工芸)
副支部長	榎山 宗嗣 (株カシヤマ)
幹事	松本 優 (株フジネオン)
	浦 正文 (サインアート)
	石井 大介 (サインクラフト イシ工芸)
	松林 泰弘 (株堺博光社)
会計幹事	松本 正敏 (山中田テント製作所)
会計監査	田崎 保洋 (田崎看板工芸社)
相談役	下垣内信夫 (日立広告)
	高橋 成光 (株白竜社)

特に、山中田テント製作所の松本正敏さんには、南支部若手のホープとして、今年度から本部の理事としても活躍してもらうことになりました。



第2部の懇親会は、賛助会員のフジ建機リース(株)の前原様、(株)ホケンプロジェクトの多志満様、OAC本部からは松本理事長、伊藤副理事長、今村事務局長、そして仕事を陰で支える明るい奥様方をお迎えし、総勢25名で、和やかに行われました。

私事、支部長を、お引き受けするなりケガで入院、納涼会欠席から始まり、どうなることか心配した4年間でしたが、南支部の皆様を支えられて、何とか無事にバトンを渡せてほっとしているところです。特に目新しい事も出来ませんでした。支部の会員様の事を考えて自分なりに一生懸命やっただけです。支部長会の活動も含めて、素晴らしい経験をさせてもらったと感謝しています。

今後も役員一同、新支部長を支えて「挑戦」して行こうと思いますので、よろしくお願ひします。

幹事 松林 泰弘



北支部
総会

2016年4月2日
(土)がんこ十三本店
にて北支部総会を
開催いたしました。

北支部員23社中8社9名の出席、委任状出席5社で成立し、岡野相談役の議長の下、全ての議案が原案のとおり可決承認されました。

本年度は役員改選があり、若輩者ではありますが、私橋本が支部長に仰せつかりました。副支部長兼幹事は上田氏・大島氏、会計は柏原氏、会計監査は大湾氏・山崎氏、相談役に悦氏と岡野氏が就任いたしました。

総会・懇親会に出席していただきました松本理事長・堀ノ江副理事長・今村局長、支部の皆様へ感謝申し上げます。

何分力不足でございますので、諸先輩方をはじめ



め支部の皆様へ助けをいただきながら、できる事をコツコツと努めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

支部長 橋本 幸代



OAC青年部
平成18年8月発足

▶ 初代会長 ◀

平成18年8月～平成21年4月



石井 大介

▶ 2代会長 ◀

平成21年4月～平成24年4月



夏目 健一

▶ 3代会長 ◀

平成24年4月～平成26年4月



笠谷 周正

▶ 4代会長 ◀

平成26年4月～現在



北川福太郎

青年部役員あいさつ



部長
北川 福太郎
(株劇団往来)

OACの良い所はアットホームで、横のつながりから自社の仕事につながる所だと思います。素晴らしい組合員さんと様々な行事で知り合い、自然と横のつながりができ、気がついたら仕事の相談をし、それが仕事に繋がると思った感じでしょうか。

私は青年部の部長をさせていただいております。部員の皆様が一人でも多く本部で活躍できるように、青年部を成長の場として皆様のお仕事に役立つような楽しい行事を実施していきたいです。



副部長
岸田 充正
(株光陽銘板)

青年部に参加させていただいていて本当に学ぶことばかりで、人との接し方、つながりの大事さ、いざという時に助けてくれる仲間がいると信じています。

他にあたることのできない日々のストレスや悩みなどを酒の席で相談して一緒になって考えてくれる仲間がすごくありがたいです。僕自身、まだ

まだ未熟なので、いろんな人の考え方や生き様を見ながら勉強しようとしていますが、言葉の難しさに悩んでいます。あまり上手に考えていることを伝える事ができないのです。でも組合に参加していくうちに、少しずつではありますが、考えながらしゃべれるようになった気がします。

仕事でもお客さんと話をするときは知識と知恵は必要です。毎回勉強しに行っている気持ちでこれからもがんばっていきたいと思います。

青年部だけではなく、本部の集まりにも参加していきますのでよろしくをお願いします。



幹事
笠谷 周正
(株桃太郎)

少し相談があるからOAC事務局に来てくれなしかと森川副理事長にお声がけを頂き、軽い気持ちで行ってみましたところ、青年部を作りたいと松本理事長をはじめとする当時のOAC執行部の方々に熱い思いをお伺いし、私のような若輩者でも何かお役に立てられるのならと青年部に入部してから早10年。

発足当初より、石井初代部長、夏目2代部長の補佐役として副部長、そして部長と大役を仰せつ

かり、この10年間何事にも代えがたい貴重な経験をさせて頂きましたこと改めて感謝し、つくづく幸運だなと感じております。

唯一発足当時より今もなお役員として執行部に携わり続ける者としながらも、皆様方のご指導・ご協力を頂きましたおかげで創部10周年を迎え5名から始まった部が卒部されました方を含めると今や30名を超える立派な部になりましたこと非常に感慨深く思っています。

また素晴らしい人達と出会い、時には本気でぶつかり合いながらも仕事の事からプライベートな事まで熱く語り合う事ができる何事にも代え難い人脈作りができる点がこの青年部の最大の魅力だと思っています。

今後ますます魅力ある青年部事業を継続し、OACのみならず業界を率先していける部でありますよう精進してまいりたいと思います。



幹事
中元 秀行
(有阪神彫刻工業所)

私が青年部に初めて参加したのは30代後半に差し掛かった頃だったでしょうか。それまで私は、工場内での業務を主とし、加工技術を習得する事に一生懸命でした。作り手だけの仕事に収まらなくなった頃、横の繋がりの希薄さに気づき青年部への入部を決めました。

来年45歳となる私は、青年部を卒業する事となりますが、青年部で知り得た友人、また、そこで得た知識が、私の今後の人生において宝物となる事でしょう。

その様な機会を得る事が出来る場が、私にとってのOAC青年部です。



幹事
松本 正敏
(山中田テント製作所)

色々なイベント、勉強会を開催されて、色々な人がいてアドバイスをいただいたり、したり、

OACに入ってよかったです。自分の仕事で活かして行きたいです。



幹事
太田 博崇
(㈱フジネオン)

OAC青年部に入部し様々な経験を通し、まず何より大変楽しませていただいています。

仕事を通しての事業では経験し得ないことばかりで、OACの事業に参加させていただく度に色々な学びがあります。中でも役員として初めて担当させていただいた研修会は非常に思い出深いものとなりました。

反省点もありましたが、これからもOACの為に少しでもお役に立てるよう精一杯努力していきたいと思います。



会計幹事
大川 由保
(㈱キヌガワ)

青年部に入った当初は年1～2度の行事に参加でしたが、青年部の幹事になってからは多くの行事に参加をし、色々な方と交流させて頂き色々経験させて頂いています。

今後も色々勉強をさせて頂き少しでも青年部の力になればと思っています。



監査
秋村 敬三
(有秋村泰平堂)

OACに初めて参加させて頂いたのは青年部でした。まだ右も左もわからぬまま優しく青年部の皆様に迎え入れて頂きました。そのあと中央支部にも参加し、支部と青年部と兼任で活動しています。

今後とも宜しくお願いいたします。

OAC青年部旅行会&ゴルフコンペ

平成28年3月5日(土)6日(日)に1泊2日で青年部旅行会&ゴルフコンペに参加させていただきました。

今回は青年部という事で、ファミリーで参加された方もおられたので、ゴルフ組と観光組に別れ、すべて電車とタクシーの旅で移動が大変でしたが、日頃なかなか電車に乗る機会が少なくなり、今回は電車の旅を楽しませていただきました。

旅行組の1日目は電車で鳥羽駅まで行き、そこからイルカ島までは船に乗りました。イルカ島ではアシカショーとイルカショーを楽しみ、アシカショーは山の頂上にあり、みんなで歩いて山道を登り、日頃の運動不足がよくわかり、息があがりました。



その後、今回のホテルの「志摩ビーチホテル」に向かい、ゴルフを楽しんだゴルフ組の方と合流し、部屋は目の前が海で絶景でした。お風呂に入り、大宴会を楽しみ、料理も海の幸で最高でした。

2日目はのんびり出発で、集合時間も10時だったので朝風呂もゆっくりと楽しみ、海の景色も最高で、集合時間の少し前に海岸を散歩でき、久しぶりに海の波の音をのんびりと聞いて大変癒されました。

電車で移動し、伊勢神宮にガイドの方の案内で外宮の偶々の神様を参拝しました。知らなかった事をガイド

の方に説明を聞いて、大変勉強になりました。

その後、タクシーで内宮に行き、タクシーを降りたとたん雨がザッと降りましたが、日頃の行いが良いのかどうかわかりませんが5分で雨がやみました。



内宮では自由行動となり、お腹が空いたので先におかげ横丁に行き、昼食は名物の伊勢うどんを食べ、次にデザートは赤福本店で赤福を食べまわりました。

内宮は宇治橋と呼ばれる橋を渡り、しばらく歩くと五十鈴川の流れはすごく綺麗でした。

大阪に帰る時に乗った近鉄特急「しまかぜ」は、座席が皮張りでシートも広く、リクライニングもでき、クッションもフワフワでこんな高級電車に乗ったことがなく、大人達は子供になったように大・大・大興奮していて、「寝るのももったいない！」と騒いでいました。この「しまかぜ」はなかなかチケットが取れないみたいなので、終点の上本町まではあつという間に着いてしまい、電車から降りたくなかったです。

大変楽しい旅行でした。皆様おつかれ様でした。

幹事 松本 正敏



OAC青年部総会・10周年記念式典

平成28年4月22日、北新地にあるラグナヴェール大阪にて部員25名の出席を頂き第10回OAC青年部総会を開催いたしました。

総会では中元幹事の司会、開会の辞で始まり、私の挨拶の後、議長に山岸氏を選出し議事に入りました。平成27年度事業報告及び会計報告、平成28年度事業計画案及び収支予算案がスムーズに原案通り可決承認され、無事に終了いたしました。

いつもならここから楽しい懇親会！なのですが、今回は10周年記念式典があるので部員の皆様には一度外で待って頂き、役員全員で会場準備を行い何とか定刻に開始することができました。

記念式典には松本理事長、森川副理事長、堀ノ江副理事長、夏目相談役、宮崎参与、山元理事、金井理事、今村事務局長、そして、友好団体である大阪屋外広告美術協同組合（以下、大広協）青年部より石川部長、住友相談役、関西ネオン工業協同組合（以下、関ネ）青年部より海中部長をご来賓でお迎えし、岸田副部長の司会で始まりました。

まずは私の挨拶でしたが、やはり何回やってもきちんとした挨拶は苦手で、今回も前回同様頭が真っ白に…そんな私のグダグダ挨拶を松本理事長と石川大広協部長、海中関ネ部長が最高の祝辞で



フォローして下さいました。本当に自分は幸せ者だなあと感じながら、もっと挨拶の練習をしないと！と反省です（汗）。

そして、今回10周年を記念して、OACの原点である看板に着目し、夏目相談役と宮崎参与に青年部オリジナル映画看板を作成していただきました。宮崎参与の提案で中身は、映画「男はつらいよ」のパロディーで「部長はつらいよ」になりました（笑）。お披露目の際、夏目相談役と、宮崎参与と私とで除幕式をさせて頂き、会場の皆様からは「素晴らしい！」「かっこいい！」といったお声をいただきました。青年部の一生の宝物ができました。夏目相談役、宮崎参与本当にありがとうございました。

看板お披露目の後、岸田副部長の閉会の言葉があり、記念式典は無事に終了し、そのまま懇親会になりました。



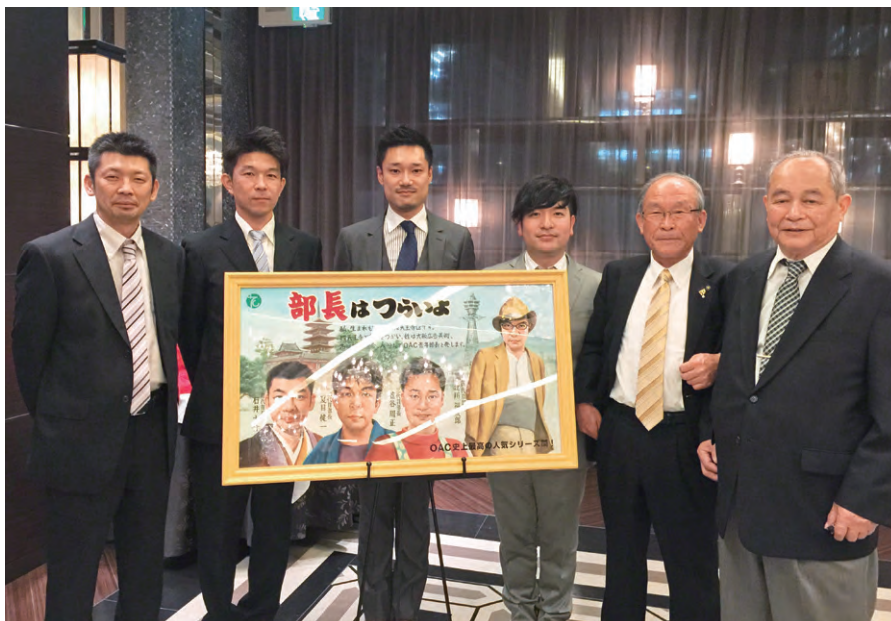
オープニング映像では青年部員の皆様を紹介させて頂き、会場が盛り上がったところで、堀ノ江副理事長の乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

アトラクションには元AKB48の小原春香さんのミニライブ！さすが元AKBというだけあって部員の皆さんはいつもより釘付けでした（笑）

その後、10という数字に関係する商品しかない抽選会を行い、そして、今回で卒部される石井氏（イシイ工芸）、伊藤氏（大協社）に青年部恒例の中元幹事特製記念品と、そして今回も夏目相談役自ら書いて下さった記念に残る感謝状をお渡しさせて頂きました。（伊藤氏は欠席の為、後日お渡しさせて頂きました）

石井さんは初代青年部長ということもあり、ご挨拶を聴いていると、部員一同感極まるものがありました。石井さん本当にお疲れ様でした。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、気がつけばお開きの時間となっておりました。最後は歴代部



長が壇上に上がり一言ずつご挨拶させて頂いた後、楽しい宴は終了いたしました。

本部組合員の皆様のご理解と青年部部員の皆様のご協力のおかげでなんとか10周年記念式典を終えることができました。

本当に感謝いたしますとともに今後とも引き続き青年部活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

部長 北川 福太郎

OAC青年部ゴルフコンペ

6月25日(土)OAC青年部ゴルフコンペを猪名川グリーンカントリークラブで開催いたしました。当日の天気は快晴！と言いたい所でしたが、残念ながら雨のパラつく天気。

総勢10名、3組でのゴルフコンペとなり北川部長の始球式にて始まりました。

私は1組目で、北川部長、大島さん、新入部員の八尾さんと一緒に回らせて頂き、和気藹々と楽しい一日を過ごさせて頂きました。

全ての人に優勝の可能性のある無制限ダブルペリアのハンデ方式でのコンペでしたが、私の成績は惜しくも3位。優勝は大川由保さん、準優勝は金井正次さん、そして、惜しくもブービーと

なった夏目健一さんと言う結果に終わりました。

いつもながらOB連発の青年部のコンペでしたが、参加された青年部のみなさん、お疲れ様でした～。

幹事 中元 秀行



交番への色紙差替え事業

文化事業っていいな～



6月19日、日曜午後1時、生憎の土砂降り。豊中駅前交番に「紫陽花」の色紙を差し替えている季節にぴったりで、これも乙なものである。

交番に色紙掲示の文化事業を立ち上げすでに23年、思い起こせば今は亡き当時の北山副理事長と事務局、私の三人で府警本部また各警察署を訪問し、快諾を得たことを、今思い巡らせている。

皆さんのご支援により、継続していることに感謝している次第である。

帰りも外は雨、しかし車中の小生の心は晴れ晴れした心持ちであった。

豊中署管内担当 夏目 敏昭



堺市路上違反 簡易広告物除去活動

平成28年4月16日(土)午前10時よりJR鳳駅周辺にて貼り紙等の除去を行いました。

支部長 木南 憲二

大阪市「かたづけ・たい」活動

平成28年3月10日(休)午後5時より
上本町周辺で実施いたしました。

支部長 笠谷 周正



平成28年6月17日(金)午後6時より
鶴橋周辺で実施致しました。

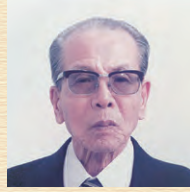
支部長 金井 和人



OAC
広告美術
技能士会
 昭和53年3月発足

▶ 初代会長 ◀

昭和53年3月
 昭和58年5月



松本 光七

▶ 2代会長 ◀

昭和58年5月
 昭和63年4月



長谷川照彰

▶ 3代会長 ◀

昭和63年4月
 平成6年5月



池田 岩男

▶ 4代会長 ◀

平成6年5月
 平成12年6月



岡野 守博

技能士会だより

ものづくり教室

平成28年2月19日(金)
 友渚中学校1年生13名



ものづくり教室

平成28年2月26日(金)
 瓜破中学校2年生6名



▶ 5代会長 ◀

平成12年6月
平成20年6月



夏目 敏昭

▶ 6代会長 ◀

平成20年6月
平成22年6月



原 秀一

▶ 7代会長 ◀

平成22年6月
平成24年6月



木南 憲二

▶ 8代会長 ◀

平成24年6月
平成26年6月



夏目 健一

▶ 9代会長 ◀

平成26年6月
現在



上田 亨二

ものづくり教室

平成28年3月4日(金)
市岡中学校1年生11名



ハッピーアースディ大阪2016

平成28年3月19日(土)久宝寺緑地公園にてハッピーアースディ大阪2016が開催され、ものづくり体験教室に協力参加しました。

11職種の技能士会がそれぞれの教室を実施、来場された方たちで賑わっていました。



「手書き看板の基本」研修会に参加して

一心堂の会長、夏目敏昭先生を講師にお招きしての、技能士会開催「手書き看板の基本」、無事に全回参加することが出来ました。

およそ8カ月、合計8回の長期に渡る研修会でしたが、他の参加者の方も仕事の多忙なスケジュールの合間に積極的に参加されていました。

今回は楷書編という事で、初回の「永字八法」に始まり、「偏」や「旁」、「カタカナ」、「ひらがな」と学んでいきました。初めは筆使いもままならず回を重ねるごとに、ますます難しさを感じながら進んでいきました。途中に「写経」の宿題もあり、最後に再び「永字八法」に戻り、少し筆使いが解りかけたかな…というところで終了となりました。

当然ですが、講師の夏目先生の半世紀以上もこの仕事で磨いた腕前には程遠く、たかが十数



時間程度書いたからといって、いきなり達筆になるわけありません。今回の研修だけで終わらず個人的にはこれからも「楷書」を学んでいきたいと思います。

昨今、私達の業界もコンピュータ等により、仕事の内容もずいぶん様変わりしてきましたが、今回の研修に参加したことは、「筆文字」や「手書き」の技術と価値を今一度見つめ直す良いきっかけとなりました。

第二段として「ゴシック編」も開催されるとの事ですので、こちらも楽しみです。

最後になりましたが講師の夏目先生、OAC技能士会の皆さま、本当に貴重な経験の場を作って頂きありがとうございました。

幹事 廣田 満也



技能士会総会開催



6月7日(火)に南海グリル東店に於きまして、第39回OAC広告美術技能士会通常総会を開催いたしました。

夏目名誉会長が議長のもと、事業報告、収支報告、事業計画、収支予算など慎重審議により皆様のご承認をいただき進行いたしました。

今回は役員改選が行われ、上田会長が再任されました。新年度も上田会長の元、小中学校でのものづくり教室、ものづくりコレクション、ハッピーアースデーなどへ参加させていただき、微力ながら少しでも技能士会のお役に立てる様に努めさせていただきます。



第二部の懇親会では皆さんと楽しいおしゃべ



りをしながら、カウンター越しに見えるシェフの妙技にただただ感心するばかりでした。おいしいお肉をいただき、精気を養い、「よし！また、明日からも頑張ろう」と、力がみなぎってくるのを感じました。

今後とも、宜しくお願い致します

副会長 山本 康浩



第39回総会におきまして、技能士会会長を仰せつかりました。皆様のお力添えをいただき、微力ながら技能士会の発展に努めて参りたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会長 上田 亨二



254回 OACG会コンペ

平成28年3月24日(木)

花屋敷ゴルフ倶楽部ひろのコース／17人参加

皆様お疲れ様でした。今回優勝させて頂きました岸本でございます。私より遥かにレベルの高い方が参加されているOACG会で優勝できるとは今後の自信につながります。

打倒！堀ノ江！で頑張って参りますので、宜しくお願いします。 岸本 富男



優勝	岸本	富男
2位	山元	栄一
3位	信貴	理伸



255回 OACG会コンペ

平成28年4月7日(木)

花屋敷ゴルフ倶楽部ひろのコース／18人参加

桜満開の中、ASG会併催でのゴルフコンペは朝からの雨と風が吹く春の嵐の中開催されました。

ホールが進むにつれ雨風が激しくなり、全身ずぶ濡れ、スコアーもいつもまとまらないのに、輪をかけて散々な結果だったんですが、結局、皆さんスコアーを崩されていたので、ハンデ差で今回



優勝	信貴	理伸
2位	岡崎	憲彦
3位	松本	優

初優勝することができました。

ASG会の方でも4位となり、棚からぼたもちでの賞を頂き、ありがとうございました。

次は晴れた天気の下でまた優勝できる様に頑張っていきたいと思ひます。 信貴 理伸

256回 OACG会コンペ

平成28年5月10日(火)

万寿ゴルフクラブ / 15人参加

5月10日に万寿ゴルフクラブにて第256回OACG会が行われました。午後から雨の予報だったので、急遽スループレイに変更して行くことになり雨に遭わずプレーできました。そのラッキーが私にも訪れたようで、去年から肩の痛みにより思うようなスイングができず不甲斐ないスコアを出し続けていたのですが、その日は肩の痛みも治まり思いがけないスコアが出て、久々の優勝をさせていただくことができました。

とても手入れされた素晴らしいコースとメンバーにも恵まれ、1日楽しくプレーできたのがこのような結果に繋がったのではないかと思います。



優勝 金井 和人
2位 松本 優
3位 岸本 富男

次は北海道でのマンスリーなので、ラッキーを継続させていけるよう頑張りたいと思います。

金井 和人



LED sign / Neon sign / Lighting Sign / Inkjet Print sign

屋内外看板
サイン全般
企画設計
製作施工管理
メンテナンス
屋外広告物申請代行

sign Creator FUJI NEON

<http://www.fujineon.co.jp/>



株式会社 フジネオン

〒590-0836 大阪府堺市堺区楠町3-4-12

TEL 072-245-7174

FAX 072-245-8749 E-Mail info@fujineon.co.jp



グランドマンズリー開催!!

今期のグランドマンズリーは、北海道のザ・ノースカントリーゴルフクラブでの開催で、前週に男子プロの試合が行われていたので楽しみにしていました。

4月頃からグランドマンズリーに向けて練習を重ねてきましたが、2週間程前から体調不良（練習し過ぎ）で練習ができないまま当日を迎え、優勝は諦める事にしてゴルフを楽しむ事に切り替えました。それが良かったのか、まずまずのスコアで終わる事ができ、みなさんの調子が悪かった事も重なり運良く優勝する事ができました。

夜の表彰式では、優勝の賞品と共に次期キャプテンの指名も頂きました。優勝した事で気分が良いところをつけ込まれたかのように指名され、断るにも断れず引き受けさせていただきました。（優勝してなければ断っていました）

副キャプテンの金井さん、中元さん、会計の信貴さん、監査の伊藤さん、OACG会のみなさん、若輩者で力不足ですが皆様の力添えを頂きこのOACG会を盛り上げていきたいと思しますので宜しくお願いいたします。

長年に亘りキャプテンを務められた堀ノ江さんお疲れ様でした。

キャプテン 中筋 敦生



Aクラス優勝	中筋 敦生
Bクラス優勝	松本 優



257回 OACG会コンペ

平成28年7月8日(金)

ニドムクラシックゴルフ ニスパコース/19人参加

今回はザ・ノースカントリー、ニドムニスパコース、樽前カントリーの3ラウンド。いずれもトーナメントコース。わくわくしながら飛行機に乗り、いざ北海道に～!!

前夜、おいしい物を食べながら一言(理事長やったと思う)『ニドムは来週トーナメントが有るから難しく難儀するで～。』え～そうなんや～?と皆?

朝、迎えのバスに乗り、コース攻略法を色々考え、ラフはどう打つか、早いグリーンはタッチかストロークか難しい。

バスはインターを降りてもう少しでニドムに着く頃、ドライバーの方が「トーナメントは2年後なんですよ」と。え～なんや来週やと思っていたのに!看板を早くから出しすぎやで～!取り越し苦労でした…。

服を着替えて時間もあるので、練習場で球を打っていたら放送で呼ばれて、INコースにあわてていきました。2分遅れているので早く行って下さいとコースの人に言われ、バタバタしながらスタート。

コースはセパレートされ、ラフグリーンは難しく、さすがニスパコース!白樺と水が美しい。パートナーの方、北キツネと励まし・励まされ、すごく楽しいラウンドが出来ました!



優勝	前田	親孝
2位	大湾	政次
3位	松本	優

スコアもあまり良くなかったのですが、皆さん方も苦労されたみたいで、運よく優勝する事が出来、楽しい北海道遠征でした!!

又、北海道でのゴルフ企画をよろしくお願ひします。

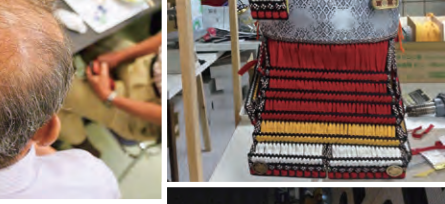
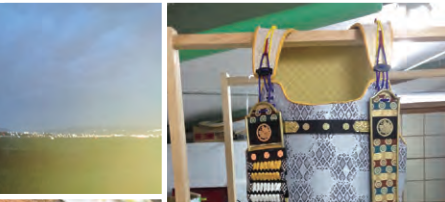
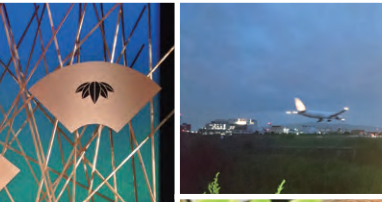
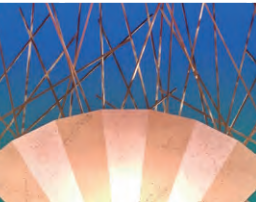
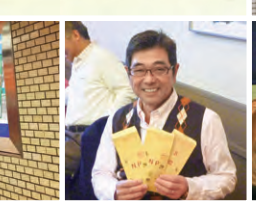
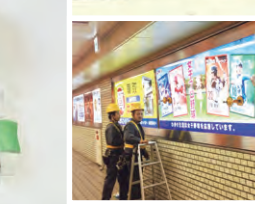
前田 親孝



あれこれ写真館

仕事の様子や事業所の写真です。
 写真をご提供いただきました皆様、
 ありがとうございます。







久美浜温泉 かに三昧ツアー

一昨年の心斎橋合同忘年会に続き、今年度も何か支部長会主催で、楽しい行事が計画できないかと言う皆様のリクエストにお応えして、一泊で日本海に「本場、とれとれの、かに」を食べに行こうということになりました。

色々プランを検討した結果、京丹後市の久美浜温泉の碧水御苑に決まりました。

参加者17人を乗せた貸切りサロンバスは、2月6日(土)午後1時に冬の日本海に向けて鶴橋をいざ出発。金井東支部長の説明が始まる間もなく、バスの中は持ち寄った缶ビールやおつまみが開けられ、既に宴会状態。ワイワイガヤガヤ、心はかにと温泉と雪景色に想いをはせつつ、あっという間に久美浜湾に到着しました。お宿は砂浜に面して佇む純和風旅館。見事に手入れされた日本庭園がきれいです。バスを降りると、やはり真冬の日本海。空気はピリッと冷たく、遠くの山々は、うっすら雪化粧。部屋に案内されて荷物を置くなり温泉へ。静かな夕景は心にしみました。いい湯を満喫した後はお待ちかねの

宴会です。かにすき、かに刺し、茹でかに、焼がにと、かにのオンパレード。顔をかにの身



だらけにして、お酒もおいしくいただき、話も弾み、大満足なひと時でした。寝る前にもう一度お風呂につかり、ぐっすり眠りました。

朝、目を覚ますと、夜中にかなり降ったのか、周り是一片の雪景色。時折日も射すまざるの天気の中、宿を後にしたバスは一路宮津の天橋立へ。ケーブルカーに乗って傘松公園に上がり、山上で冬の天橋立の美しい曲線をバックににっこり記念撮影。(しかしやっぱり寒い!)

新鮮な海産物のお土産屋さんで、皆さんどっさり買物した後、降り始めた雪の中、バスは出石の町を目指し雪深い峠の道を進みます。ここでも着いた途端に雪はやみ、晴れ間が出てくるラッキー



に恵まれました。昼食は出石町出身の阪神彫刻中元さんの奥さんのお世話で、名物出石そばの店、沢庵さんで打ちたての皿そばをいただきました。皆さんのすごい勢いの追加注文に店の方も大慌てで応じていただき、私も正直打ちたての蕎麦がこんなにおいしいものだと初めて知りました。

出石の古い街並みを散策した後、沢山のお土産と共にバスに乗り込みました。

帰りのバスの中は、仕事の都合で朝のうちに1人寂しく電車で帰られた柏原北支部長に代わり橋本さん(次期北支部長)のビンゴゲームで大いに盛り上がりつつ、無事大阪までたどり着きました。

今回の旅行は、あくまで有志による旅行で、組合行事という形を取らなかったため、参加者の皆さんには少し金額的に高くなってしまった事お許しください。合わせて、予算オーバーしてしまった分カンパいただいた皆様、本当に感謝申し上げます。

新しい方々が加わった新支部長会の皆さん、今回の経験を活かしてまた楽しい企画をお願いします。

前 南支部長 松林 泰弘



組合等事業向上支援事業(組合ビジョン・中期計画作成支援)

平成26年度から「組合ビジョンの策定」に取り組むための新たな支援事業(組合等事業向上支援事業)が大阪府で設けられ、大阪府中小企業団体中央会が委託を受け事業を実施しております。

この事業は、大阪府下の組合が様々な課題を抱えていることから、課題解決の一つの手段としてビジョンを策定することで、組合運営・組合事業の見直しを図り魅力ある組合を目指すことを目的としています。

今般、当組合の役員を中心としたメンバーを「ビジョン策定委員」として、そのメンバーに専門家(中小企業診断士)と大阪府中小企業団体中央会の指導員を交えて、5回の委員会を開催し、現状の課題を抽出し改善策を検討して簡易な報告書にまとめました。



ビジョン策定委員会日程

日時	会場
平成27年 9月 2日 19:00~20:30	OAC会議室
平成27年10月 8日 17:00~18:30	OAC会議室
平成27年11月12日 17:00~18:30	OAC会議室
平成27年12月10日 17:00~18:00	OAC会議室
平成28年 2月10日 17:00~18:30	OAC会議室

ビジョン策定委員会メンバー

	氏名	所属
委員長	松本 優	株式会社 フジネオン
委員	伊藤 陽祐	第一宣伝株式会社
	堀ノ江 良	株式会社シーピー
	金井 和人	三晃プラスチック工業株式会社
	笠谷 周正	株式会社 桃太郎
	山元 栄一	株式会社 キヌガワ
専門委員	横山 昌司	横山経営研究所

1. OACについて

大阪広告美術協同組合は、街のいたるところ目にする、広告看板・ネオンサイン等の一般PR広告や イベント会場の設営、舞台装飾、更には公共性のある広報活動など、様々な分野での情報提供の企画・製作・運営を幅広く行う事業所の団体です。当組合では、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、組合員の自主的な経済活動を促進し、その社会的、経済的地位向上を目指しております。

“古い伝統、新しい運営”を基本として、組織・事業労務行政・広報文化・厚生 の 4 委員会と中央・東・西・南・北の 5 支部の組織構成により、事業を適宜に、且つ円滑に進め、また、組合員皆様との意志の疎通を図り、“明日を考え、仲良く進もう OAC”を合言葉に、将来に向けて広く積極的施策を講じ、組合運営・組織拡大に邁進していきたいと考えております。

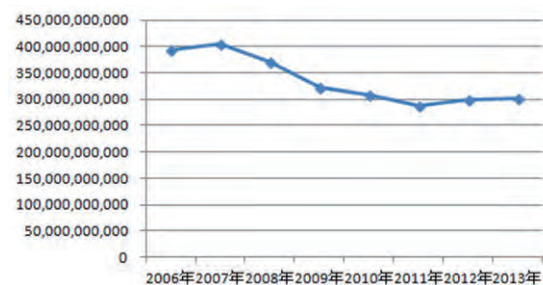
2. 大阪広告美術協同組合沿革

昭和 12 年	大東看板商美会 創立
昭和 17 年	大阪看板塗装業組合 創立
昭和 22 年	大阪府看板工業協同組合 創立
昭和 37 年 5 月	大阪府広告美術協同組合 改称
昭和 43 年 5 月	大広協同組合 創立
昭和 44 年 5 月	大広協同組合 解散
昭和 46 年 6 月 14 日	大広不動産保存会 結成
昭和 46 年 8 月 20 日	大阪広告事業協同組合 創立
昭和 48 年 5 月 22 日	大阪広告美術協同組合(略称 OAC) 改称
昭和 52 年	OAC技能士会発足
平成 18 年 8 月	青年部発足

4. 広告美術業とは

広告美術業は日本標準産業分類における定義では「他に分類されない事業サービス業」であるが、広告看板・ネオンサイン等の一般 PR 広告や イベント会場の設営、舞台装飾、更には公共性のある広報活動など、様々な分野での情報提供の企画・製作・運営を幅広く行う事業のことであるとされています。

5. 屋外広告費の推移



「屋外広告業」については、屋外広告物法第2条第2項にその定義が規定されており、「屋外広告の知識」において、次のように解説されています。

「屋外広告物法において、「屋外広告業」とは、屋外広告物の表示又は掲出物件の設置を行う営業をいう。すなわち、屋外広告物の広告主から屋外広告物の表示又は掲出物件の設置に関する工事を請け負い、屋外で公衆に表示することを業として行う営業をいうのである。この場合、元請け又は下請けといった立場の形態の如何は問わないが、屋外広告物の表示又は掲出物件の設置に関する工事を業として請け負わないような広告代理業等は屋外広告業に該当しない。これと同様の趣旨から、単に屋外広告物の印刷、製作等を行うだけで、現実に屋外広告物を表示したり、掲出物件の設置を行わないものも、屋外広告業には該当しない。」

6. 屋外広告費市場

直近8年間(2006年—2013年間)の屋外広告費の推移を見ると、2013年は、3番目に悪い数字という見方もできますが、着実に3年連続でV字回復しているとの見方が妥当です。

2011年、2012年は、2,000億円台で推移していたものが2013年には3,000億円台に回復してきました。これは総広告費の推移にも言えることですが、屋外広告費も順調に増加で推移しています。

2008年9月の「リーマンショック」をポイントに考えてみると、もう一つの見方ができます。

リーマンショックから日本経済の景気後退が始まり、広告費も年々減少してきます。

リーマンショックの前年2007年に、7兆円あった日本の総広告費が、リーマンショック後の2009年には、5兆9千億円まで減少しています。屋外広告費も同様に、リーマンショックの前年2007年に、4,041億円あった屋外広告費が、リーマンショック後の2009年には、3,180億円まで減少しています。

その後、2011年の大震災を乗り越え、日本の総広告費は、2013年には、リーマンショック前の2007年の85%まで回復してきています。

一方、屋外広告費は、2007年の屋外広告費の74%までしか回復していません。

日本の総広告費にはリーマンショック前から15%しか減少していないのに対し、屋外広告費は、26%も市場規模が縮小しています。

合わせて、リーマンショック前の2007年の日本の総広告費に対する屋外広告費の割合は、5.7%ありましたが、2013年では5.0%と0.7%減少しています。

7. 広告美術業界の特徴

- ・ 業務内容が幅広く(あらゆる施設の調査、企画、設計、施工、運営管理)、多くの業種から構成されていること。
- ・ 特定分野に特化した中小企業が大半を占める(最大手でも市場シェアは10%に満たない)こと。
- ・ 景気動向に業績が左右されるケースが多いこと。
- ・ 季節変動の影響が大きいこと。

特徴として上記のポイントがあります。以下の章で詳しく分析していきます。



8. マクロ環境分析 (PEST分析)

◆ 広告美術業界を取り巻くマクロ環境について以下のとおりPEST分析を行います。

	機会(Opportunities)	脅威(Threats)
Political 政治的 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共工事の増加 ● 東京オリンピックによる経済効果 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観条例があいまい ● 地域によって景観条例が違う ● 景観条例が厳しくなっている
Economic 経済的 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 市場規模の回復 ● 全国的に屋外広告物は動いている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 急激なインフレ ● 円安の進展による仕入れコストのアップ(海外仕入れのメリットがなくなる) ● 大阪だけが悪い(東高西低) ● 費用対効果が分かりづらい
Social 社会的 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ● オリンピックでのイベントとの分散 ● 一度、やり始めると止め難い(反復効果・刷り込み) 	<ul style="list-style-type: none"> ● デフレにより低価格競争 ● 人材確保が困難(特に現場作業員) ● 人件費アップ ● 繁忙期と閑散期の波が大きい(相手との交渉力が必要) ● 職人の高齢化(大工・職人・家具といった製造先の減少) ● 景観の問題で屋外看板が減少 ● 屋外広告物のメンテナンスをしない
Technological 技術的 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルサイネージなどの浸透 ● 情報の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 短納期への対応 ● 看板の耐久性が良くなっている ● 屋外看板そのものが飽きられている ● デジタル化したので他業種から参入しやすくなった

9. 業界環境分析

◆ 広告美術業界を取り巻く業界特性について経営資源から分析します。

	優れている	課題
人的資産	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術力が高い(絵・文字を手で書く) ● 2人から5人の個人事業的性格が強い ● 技能士会がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術者の減少 ● 技術者の仕事が変わってきた(デジタル化) ● 後継者の減少(技術の引継ぎ) ● 求人しても来ない(デザインは来る・現場職人はこない) ● 熟練者・職人が育ちにくい(大きな看板を載せる等) ● 世代交代
ものサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 製作は仕組みでできるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取付などが現場対応が必要 ● ワンストップへの対応
かね	<ul style="list-style-type: none"> ● 先代からの資産(自宅兼作業場) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃業が多い ● 事業縮小気味
情報その他		<ul style="list-style-type: none"> ● 製作機器があれば店舗での製作が可能となった ● 出力センター(設備投資が必須) ● 手書きがデジタル化されている

10. 組合環境分析

◆ OACについて分析します。

	優れている	課題
人的資産	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員同士の仲が良い ● 参加が仕事に結びつく ● 青年部の活動が活発 ● 色々な仕事に分散されているので、組合として情報共有が図られる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 組合員数の減少 ● 参加率が30%程度 ● 世代間のギャップがある ● 仲が良すぎて他の人が入りにくい ● 現在の会員数では事業を維持できない
ものサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 組合として全般的なサービスを提供している ● 特色なる事業 ● 企画モノが多い 	
かね	<ul style="list-style-type: none"> ● 会館があるから家賃収入がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同事業がない ● 会館が維持できないと事業を縮小する必要がある
情報その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 方針を決めて事業活動している ● 皆が同じ方向で団結する仕組みがある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上部の団体、中央団体とのつながりが無い ● 会館の老朽化・耐震への対応

11. 課題分析

◆ 組合で対応すべき課題の分析します。

	組合での対応
ソフト面	<ul style="list-style-type: none"> ・収益源としての共同事業 斡旋・共同購入などがあるが、現状では、取り組みは難しい ・参加率向上 組合事業の充実 参加率向上による活性化 入会するメリットの明確化 参加しやすい会合・場所 ・新規会員募集 現状の組合員さんからの紹介がほとんど → 入会するメリットの明確化 現状の組合員さんに喜んでもらうこと ・青年部 後継者問題 ・組合員の情報共有化 仕事内容の紹介 業界情報
ハード面	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の維持 耐震補強・建て替え・売却などを検討する
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・組合の永続 一番の目的 ・賛助会員の拡充 ・来てもらって楽しくなる組合 ゲスト参加 ・中央組織との連携の検討

12. 組合ビジョン

● OACから元気を！

OACは組合活動を充実させ、サイン業界の発展に寄与します。そのためには組合員の満足度向上を目指し、加入していることを誇れる組合を作るとともに健全な運営を行います。

13. 組合ビジョンを実現するために

・外部への働きかけ

下記の実現を通じて業界の発展を目指す

- ・組合員のレベルアップ
- ・組合そのものの活性化

・組合内部での活動

組合員の満足度向上・会館の維持管理による健全な運営

出席率 明確なメリットの確立

- ・ちゃんと組合員に伝える
- ・参加したら楽しい
- ・情報交換
- ・保険
- ・専門知識、情報を得る

健全な運営

- ・会館に依存しない運営の検討
- ・会館の維持管理が必須 総務委員会が見ている

14. 組合内部での活動

組合員の満足度向上！！

出席率向上	
毎年行っている事業のなかで平素出席していない組合員さまの出席を向上させるような事業の工夫を行う	
<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況のデータ分析(出席率 総会等の事業別) ・出席率の目標設定 (他の友好団体の参加率も参考にしたい) ・企画 出席者は少なくとも数を行う ・誘いやすい声かけの実施 組合からの情報の発信・支部の情報の発信、横のつながりによる情報 ・支部の行事への参加向上 ・案内送付を数度行う ・企画内容の改善 話題になってること、少し変わったこと 足場講習、大名刺交換会、野球 ・費用対効果 会費・安さ ・開催日・開催時間の工夫(日曜等) 	
明確なメリットの確立とは	
<ul style="list-style-type: none"> ・入っているだけで良い 安心感(対外的な信用・組合に加盟していることそのもの) ・ちゃんと組合員に伝える ・参加したら楽しい ・情報交換 ・保険 ・団体保険 個人より安くまた組合へのバックがある 情報の発信 ・専門知識 情報を得る ・青年部 後継者の育成・社員教育 ・従業員でも参加可能な仕組み 	

15. 組合内部での活動

新事業の検討	
外国人研修生の受け入れ(組合でないとできない事業)	
<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ態勢が難しい ・経験者が望まれている ・免許・資格制度 	
やっていることの情報発信	
冊子の利用	
<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンの発行 ・案内はFAX・郵送が中心 ・メールアドレスの活用(かつて収集している) ・事務局の対応(メールの有効活用) 	
人材の確保	
新卒・中途採用の合同説明会	
<ul style="list-style-type: none"> ・合同説明会の開催・参加(OACブース) 知名度の向上、コスト負担の低減 	
情報発信	
中央会が実施している事業の情報提供 とにかく情報を発信する 情報を選ばない	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報を獲得する方法の情報提供 経済産業省・大阪府等 	
健全な運営	
会館の維持管理が必須	
<ul style="list-style-type: none"> ・調査の開始(2016年) 予算計上 5年以内に判断する ・その後、どうするのか 建て替え・売却 ・次世代に問題を残さない ・会館に依存しない運営の検討 ・収支の改善 	

祝

OAC 創立45周年



第一宣伝株式会社

〒553-0003 大阪市福島区福島5-1-12(阪神福島駅ビル)

Tel : 06-6451-0452 Fax : 06-6451-0460

E-mail : info@daiichisenden.co.jp

http://www.daiichisenden.co.jp

魔女のひといごと



7月~
9月

英国のEU離脱で、揺れている諸外国ですが、日本への波及も避けられません。何だか世界全体が舵取り間違えていそうな気がします。後半も驚きのニュースが続きます。冷静に受け止めたいものです。

子 始まりの終わり。人生が1回転しました。ある人にとっての始まりはある人にとっての終わりです。違う人生への第一歩になるかは自分次第。

7月…甘い話に気が惹かれる。勘違いが多くなり落ち込む。うわの空？

8月…細かい事にこだわりすぎてブーイングが出る。多少大目に見て！

9月…約束が守れない。不可抗力です。残念ですがあきらめましょう。

丑 遙か彼方ですが指し示す道筋があります。道草ばかりの貴方ですが、時間との闘いを忘れずに目指しましょう。諦めずに迷っても行くのがベスト。

7月…夏バテの日々。暑さ対策は必要。同時に冷房対策も。面倒です。

8月…何かと臨時の用事が入る。予定が入れにくい。調整には苦勞。

9月…定期の仕事が定まる。しばらくは安定している。継続が肝心。

寅 障害物が多い。そのほうがモチベーションが上がる。何が信賴するに値するか再考するチャンス。自分の正義を価値観にすると痛い目に会います。

7月…生活サイクルに変化なし。もう少し上を目指した方が自分の為。

8月…親が存命の方。何かしら時間を見つけて様子見をして下さい。

9月…立場上での変化あり。良くも悪くも受け入れる事しかありません

卯 のらりくらりと危険を避けてきた貴方。そのテクニックに磨きをかけ上級者を目指しましょう。人は、プロにはある種の敬意をはらうものです。

7月…交遊が盛んな分、散財も半端ない。断わることも必要です。

8月…負けん気で家族と衝突する。仕事で抑えているので反動が来る。

9月…大人しくしていると難を逃がれる。小旅行はお薦めです。

辰 孤高の人ですが、たまに群れてみるのも新鮮。上から目線と誤解されている。賢人なら愚者を理解するのも必要。プライドを捨ててから道は開ける。

7月…次の人生設計をそろそろ準備する時期。背負う物が大きい。

8月…普段通りで大丈夫。仕事の見通しも立ちやすい。人は人です。

9月…家族の支援で心安らぐ。一番の理解者です。食事はゆっくり。

巳 情熱さ故に執着し過ぎです。他者との温度差を理解し、不満があるのなら、違う階層の人々と交流する事です。周囲のレベルイコール貴方のレベル。

7月…新分野に挑戦している方、慣れましたか？根気とやる気がある。

8月…誰より事態の把握が早くても、口調には気をつけるほうが得策。

9月…旧友との交流はよく考えて。結果オーライの関係では済まない。

午 強い印象ではなく、自己中心と思われています。ズバリ弱点を指摘したり、皆を従わせるチカラの事。弱気にならないで。長所でもあるのですから。

7月…大胆な事をして周囲を驚かせる。嫌われないのが不思議です。

8月…怒りはなるべく抑えて、冷静に。追いつめると火傷します。

9月…時々息抜きするのも大事。頑張り過ぎると心身共々くたびれる。

未 心が不毛です。良き理解者がいないと思っているから。自分が良き理解者になれば解決する。同年代との親交は大きな飛躍の足がかりになります。

7月…例年より何もかも下回る。全体ならそう大きな差はつかない。

8月…近隣とのつき合いは、大丈夫ですか？慎重な態度が望ましい。

9月…やる気がみなぎる。周囲の環境もプラスになり心地よく働ける。

申 満点なのに少し不満が残る。まだ力を出し切っていない様な心残り。その位が丁度いいのでは？今年後半は、神社仏閣巡りが幸運を呼び込む。

7月…外回りの仕事で疲れ倍増。ダウンしない様に食事をしっかり。

8月…成果はトントン。アポが確実なら後半追いつける事が出来る。

9月…プロの技が冴える。伝授しないと勿体ない。お金の融通は注意。

酉 余裕ができて油断している。何か見逃しているか、見過ごしているものはありませんか？気が付いていないなら重症。このままだと来年ピンチ。

7月…チョットした幸運が舞い込む。夜更かしより早起きなら続く。

8月…水分補給は忘れずに。量多くお酒意外ならなんでもOKです。

9月…お金の匂いがします。小銭は貯まります。散財しても回ってくる。

戌 自覚しているのに何故対処しないのでしょうか。経験値に囚われず違う視点から分析してケアすれば、無駄にも手遅れにもなりません。大丈夫。

7月…同病相憐れむ。まさにそんな感じ。たまに愚痴大会も必要です。

8月…この時期体への負担がきつい。怠ける位の調子で働くのが良い。

9月…部下、後輩、弟子色々。一人前に育てています。頑張りました。

亥 未知の自分を発見する。殻を破ったという事でしょう。驚きか喜びか解りませんが、全部受け止めましょう。年は関係ありません。勿論性別も。

7月…そろそろ友人の選別が始まります。永遠の友情は難しいです。

8月…結果が伴わない仕事に時間を取られる。無駄使いが止まらない。

9月…周囲の雑音につい神経質になってしまう。関わると辛い立場に。

人型ロボットが某携帯会社の店頭に置いてありましたが、複雑な気持ち。愛読していたハインラインやアーサー C クラークの世界が目前か？と

第535回理事会報告

日 時 平成28年1月19日(火) 午後4時10分
 場 所 ホテルモンテグラスミア大阪
 議 長 松本理事長
 本人出席 松本理事長、森川・悦・浦・堀ノ江・伊藤副理
 事長、金井・松林・柏原・栩野・松原・山田・
 大亦・山元・山岸・夏目・木南理事
 出 席 信貴・岡野・夏目相談役、大湾監事
 書面出席 橋本理事

審議事項

(1)次年度事業活動について

議長は、今期の事業で残っているパンフレットのリ
 ニューアル作製の完成日について委員会に説明させ
 2月初めと確認し、配布については新年交歓会の挨拶
 で説明案内するとした。また、次年度事業活動方針の
 テーを「挑戦」とすることを発表、組合事業に参加され
 ていない組合員に一步踏み出していただく、そのた
 めには一步踏み出しやすい計画も必要になってくる
 とした。

(2)機関誌について

議長は、木南理事に機関誌について説明させ、新緑号
 については記載する内容が少ないこともあり発行は
 せず、7月発行予定の記念号(盛夏号)の内容を充実さ
 せ、更にはA4サイズにて発行することが承認可決
 された。

第536回理事会報告

日 時 平成28年2月10日(水) 午後6時30分
 場 所 OAC会議室
 議 長 松本理事長
 本人出席 松本理事長、森川・堀ノ江・伊藤副理事長、金井・
 松林・松原・山元・山岸・橋本理事
 出 席 岸田青年部副部長
 書面出席 悦副理事長、柏原・栩野・秋村・大亦・夏目・
 可児理事

審議事項

(1)第3四半期報告について

議長は、事務局に第3四半期報告について資料に基づ
 き詳細に説明させ、順調に推移している旨の報告があ
 り、これを議場に諮ったところ満場異議なく承認可決
 された。

(2)外部への発信について

議長は、橋本理事に外部への発信としてリニューアル
 作製する組合パンフレットについて説明させ、OAC
 のロゴを統一し、修正については委員会に一任し作製
 することが承認可決された。

(3)記念式典について

議長は、森川副理事長に記念式典の表彰者について説
 明させ、組合在籍40年以上の組合員を大阪府知事表
 彰、35年以上を中央会会長表彰とすることが承認可
 決された。

第537回理事会報告

日 時 平成28年3月10日(木) 午後6時10分
 場 所 OAC会議室
 議 長 松本理事長
 本人出席 松本理事長、浦副理事長、笠谷・松林・栩野・
 松原・山岸・可児・橋本理事
 出 席 岸田青年部副部長
 書面出席 森川・悦・堀ノ江・伊藤副理事長、柏原・秋村・
 大亦・山元・夏目・木南理事

審議事項

(1)次年度事業活動について

議長は、理事長として過去の委員会毎の活動を参考に
 次年度事業並びに予算について説明し、全て承認可決
 した。なお、具体的な事業内容については、役員改選後
 の新委員会にて決めていくこととするが、事業の開催
 時期によっては現委員会メンバーで検討し、引き継ぐ
 こととする。

(2)総会・記念式典について

議長は、理事長として総会・記念式典の次第について
 説明し、総会で技能検定合格証書の授与、記念式典で
 大阪府警よりの感謝状授与を行うこととした。

(3)新規加入者の承認について

議長は、栩野理事に加入の申し入れのあった以下の事
 業所について読み上げさせ、承認されれば136社にな
 ると説明させた後、議場に諮ったところ、満場異議な
 く承認可決した。

・北支部

(有)ベーシックジム(織田貴子)3月より 組合直接

(4)外部への発信について

議長は、山岸理事に外部への発信としてリニューアル
 作製する組合パンフレットについて最終確認をさせ、
 一部、組合についての説明文を修正し、作製、発送す
 ることを承認可決した。

第538回理事会報告

日 時 平成28年4月14日(木) 午後6時15分
 場 所 OAC会議室
 議 長 松本理事長
 本人出席 松本理事長、森川・浦・堀ノ江副理事長、笠谷・
 金井・柏原・秋村・松原・木南・橋本理事
 出 席 北川青年部長
 書面出席 伊藤副理事長、栩野・山田・大亦・山元・山岸・
 可児理事

審議事項

(1)監事提出書類及について

議長は、事務局に監事への提出書類並びに配当3%を
 含めた剰余金処分案について説明させた後、これを議
 場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

(2)事業計画と予算について

議長は、事務局に次年度の事業並びに予算について説
 明させ、全て承認可決した。

(3)通常総会提出議案について

議長は、森川副理事長に内容を説明させた後、これを議場に諮ったところ、満場異議なく以下のとおり承認可決した。

- ・第1号議案 平成27年度事業報告について
- ・第2号議案 平成27年度収支決算・剰余金処分について
- ・第3号議案 平成28年度事業計画設定について
- ・第4号議案 平成28年度予算設定について
- ・第5号議案 平成28年度借入金残高の最高限度額設定について
- ・第6号議案 労働保険事務組合事務処理規約の一部改正等について
- ・第7号議案 役員改選について

(4)通常総会・記念式典について

議長は、森川副理事長に5月24日(火)ホテルグランヴィア大阪にて開催する通常総会・記念式典について説明させ、次第、役割分担、参加費(2人目以降組合員@5,000、賛助会員@8,000)について全て承認可決した。

第539回理事会報告

日 時 平成28年5月9日(月) 午後6時10分

場 所 O A C 会議室

議 長 松本理事長

本人出席 松本理事長、森川・悦・浦・堀ノ江・伊藤副理事長、笠谷・金井・松林・松原・山田・山岸・夏目・可児・橋本理事

出 席 北川青年部長

書面出席 柏原・秋村・山元理事

審議事項

(1)監査を受けた決算関係書類の承認について

議長は悦副理事長に監事の監査を受けた平成27年度決算関係書類について資料に基づき詳細に説明させた後、これを議場に諮ったところ満場異議なく承認可決した。

(2)通常総会・記念式典について

議長は、森川副理事長に通常総会進行等の最終確認と展示コーナーについては3社の申込みがあるとの説明をさせ、総会の円滑な進行への協力依頼がなされた。

(3)賛助会員加入の承認について

議長は、悦副理事長に賛助会員加入の申し入れのあった事業所(日産チェリー西成販売(株))について読み上げさせ、承認可決した。

(4)熊本地震義援金について

議長は、森川副理事長に熊本地震への義援金について説明させ、日本赤十字社へ送金することを承認可決した。

(5)定款変更について

議長は、松林理事から申し出のあった役員定数の変更について説明させ、役員改選時の各支部からの推薦数が23名であるため、定款の役員定数を19人以上25人以内に変更することを承認可決した。これに伴い、通常総会の議案に定款変更についてを追加することも承認した。

第540回理事会報告

日 時 平成28年6月9日(木) 午後6時

場 所 O A C 会議室

議 長 松本理事長

本人出席 松本理事長、浦・堀ノ江・伊藤・金井副理事長、笠谷・橋本・栩野・松原・山元・夏目・長澤・松林・柏原・上田理事

出 席 北川青年部長

書面出席 森川副理事長、山岸・木南・秋村・岸田・松本・大島理事

審議事項

(1)副理事長の選出について

議長は、副理事長の選出について説明し、森川英雄、浦 正文、堀ノ江良、伊藤陽祐、金井和人が選出され、被選者は各々即時就任を承諾した。

(2)委員会編成について

議長は、理事長として委員会編成について説明があり、以下の通り承認可決した。なお、7月理事会までに委員会を開催し、それぞれの事業内容について検討、7月理事会で発表することとした。

組織委員会

堀ノ江良、栩野幸保、松原久美子、夏目健一、大島祥一

広報文化委員会

伊藤陽祐、松林泰弘、大亦康雄、木南憲二、橋本幸代

厚生委員会

金井和人、山元栄一、笠谷周正、長澤達也、上田亨二

事業労務行政委員会

浦 正文、柏原将吾、秋村敬三、岸田仁良、山岸友彦、松本正敏

(3)出資配当金の還付方法について

議長は、堀ノ江副理事長に平成27年度出資配当金の還付方法について詳細に説明させた後、これを議場に諮ったところ以下のとおり満場異議なく承認可決した。20%源泉後の金額が1万円未満の場合は会費に充当相殺し、1万円を超える場合は会費充当もしくは現金(振込)支払いとする。

(4)新規加入者及び組合脱退者の承認について

議長は、栩野理事に加入及び脱退の申し入れのあった以下の事業所を読み上げさせ、了承されれば136社になると説明させた後、議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

【加入】

・北支部 (株)栄光(徳田武巳)5月より
紹介者 悦 美子(株)アドエース

【脱退】

・北支部 (株)淀川電飾看板(佐藤孝明)5月31日付
理由 諸般の事情

当たりの方は
取りに来てね!!



記念号お楽しみ スクラッチ 賞品多数!!



当たりの方は事務局へお電話下さい TEL 06-6771-9010

記念号制作にあたり、ご協力、ならびに賞品提供をしていただいております。

(有)一心堂 (株)キヌガワ (株)シギスタデイオ (株)光陽銘板 (有)塗夢創屋
(株)中川ケミカル (株)ナニワ (株)ニップコーポレーション ビン 一工芸 (敬称略)

お知らせ

◇代表者の変更

- 中央支部 (株)桃太郎
新 笠谷 周正
- 中央支部 (株)カタウラ工芸
新 形浦 修司
- 西支部 (株)ニシマツテント
新 西松 勇介

◇メールアドレスの変更

- 中央支部 (株)ナニワ
新 t-wakamatsu@ibex-naniwa.co.jp
- 東支部 アド・サンシャイン
新 ad_sansyain@yahoo.co.jp
- 南支部 サインクラフト イシイ工芸
新 kanban@ishiikougei.com
- 南支部 サイン・アート
新 signart4161@gaia.eonet.ne.jp

◇組合員ご家族の慶弔

[弔事]

- 西支部 モリ工芸社事業部
森 典嗣氏 ご母堂ご逝去 (5月17日)
- 西支部 (株)ニシマツテント
西松 清孝氏 ご本人ご逝去 (7月12日)

あとがき

組合創立45周年に当たり、昨年は野球観戦、記念ゴルフ大会や記念旅行会と様々な行事が行われましたが、今回の機関誌45周年記念号のお届けを持って締めくくりとなります。

編集作業を進める中で、本部に残る膨大な写真の中から諸先輩方の若かりし日の姿を見つけては楽しませてもらいました。特に感銘を受けたのは会館の建築中の写真と、その落成パーティーにおける参加者の表情に、これから自分たちが組合を盛り上げていこうとする気概が満ち溢れていたことです。私達もこの気概を次の世代に伝えていかなければならないと強く感じました。

今回の機関誌において初めての試みとして、スクラッチくじを付けて組合員様に豪華賞品を当ててもらおうという企画を考えてみました。厚かましい御願いにも関わらず素晴らしい賞品をご提供くださった皆様、本当にありがとうございました。

これからも広報文化委員会では、力を合わせ、知恵を絞って、機関誌を通じてOACの楽しい企画を紹介していこうと思いますので、どうぞご期待ください。

広報文化委員長 松林 泰弘

OAC 2016年盛夏号 No.219
(平成28年8月20日発行)

発行所 大阪広告美術協同組合

大阪市天王寺区筆ヶ崎町3番1号 〒543-0027

TEL 06(6771)9010(代)

FAX 06(6774)0426

発行人 松本 優

(大阪広告美術協同組合理事長)

編集人 広報文化委員会

50年、60年、その先の

『明日を考え』...

新しい時代へ皆様と共に

『仲良く進もう OAC』

輝かしい未来に向かって...